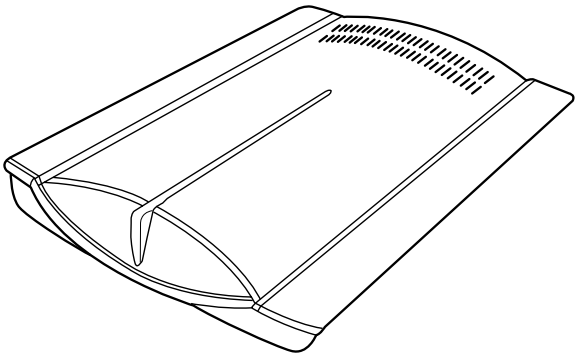
TOSHIBA

無線LANアクセスポイント
取扱説明書

IPC5037A



ご使用の前に、『安心してお使いいただくために』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お客様に安全に作業していただくための注意事項です。

もくじ

もくじ・・・

安心してお使いいただくために

ご使用の前に、この「安心してお使いいただくために」と本書の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本書をお読みになった後は、本機のそばなど、いつも手元に置いてご使用ください。
本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、お買い求めいただいた製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。
お子様がお使いになるときは、保護者の方が本書の中身をお読みになり、正しい使い方をご指導ください。

表示の意味

⚠危険	“誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う危険が、差しせまって発生する可能性があること”を示します。
⚠警告	“誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があること”を示します。
⚠注意	“誤った取り扱いをすると、人が傷害*1を負う可能性、または物的損害*2のみが発生する可能性があること”を示します。

＊1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさす。
＊2：物的損害とは、家屋・家財、および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさす。

図記号の意味

△ **この図記号は危険（警告、注意含む）を促す事項を示しています。**
具体的な警告内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

⊘ **この図記号はしてはいけない行為（禁止事項）を示しています。**
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

● **この図記号は必ずしてほしい行為（強制事項）を示しています。**
具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

免責事項について

- **地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。**
- **本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。**
- **取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。**
- **当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。**

警告

●本装置の取り扱いについて

もし、異常な臭いがしたり、異常音がしたり、発煙したときは、すぐに電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災、故障のおそれがあります。
「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」に点検を依頼してください。

ACアダプタを
コンセントから抜け

コップ、花びんなど、液体の入った容器を上にのせたり、近くに置かないこと

液体がこぼれて内部に入ると、火災・感電のおそれがあります。
また、物が落ちたときにけがをするおそれがあります。
もし、液体が内部に入ったときは、電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いて、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」に点検を依頼してください。

禁止

分解・改造・修理しないこと

火災、感電、故障、ケガのおそれがあります。
修理は、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」に点検を依頼してください。
本製品を分解した場合、保証やその他のサービスは受けられません。

分解禁止

ふろ場など、水がかかったり、湿気の多いところに置かないこと

感電のおそれがあります。

水場での使用禁止

もし、落としたり、強い衝撃を与えたときは、すぐに電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災、故障のおそれがあります。
「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」に点検を依頼してください。

ACアダプタを
コンセントから抜け

⚠警告

本装置、ＡＣアダプタはサービスマン以外の方は絶対に分解しないこと

禁止

●電源コード、ACアダプタの取り扱いについて

電源コードを取り扱うときは次の点を守ること

・傷つけない　・加工しない　・強く曲げない
・ねじらない　・引っ張らない　・物を乗せない
・熱器具を近づけない　・余ったコードを束ねない
・ドアにはさまない　・加熱しない
・コードをつぎ足さない　・机、家具などを乗せてつぶさない
・クギやステープルで固定しない

守らないと、火災、感電のおそれがあります。もし、電源コードが傷ついたときは、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」に点検を依頼してください。

強制

ACアダプタはAC100Vコンセントに差し込むこと

それ以外のコンセントに差し込むと、火災のおそれがあります。

強制

コンセントや配線器具の定格をこえる使い方をしないこと

タコ足配線などで定格をこえると、火災、感電のおそれがあります。

強制

警告

電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてから乾いた布などで清掃すること

そのまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。

強制

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込むこと

確実に差し込んでいないと、火災、感電のおそれがあります。

強制

必ず、本装置付属のACアダプタを使用すること

本体付属以外のACアダプタを使用すると、電圧や＋、－の極性が異なることがあるため、火災、発煙、故障のおそれがあります。

強制

⚠注意

●本装置の取り扱いについて

ステープル、クリップなどの金属類を内部に入れないこと

ショートし、発煙、発火のおそれがあります。

禁止

雨、きりなどが直接入り込むような場所では使用しないこと

雨、きりが付着して、火災、感電のおそれがあります。

禁止

ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かないこと

落ちたり、たおれたりしてケガするおそれがあります。

禁止

アプリケーションソフトの作動中に電源を切らないこと

データ消失のおそれがあります。

禁止

ぬれた手で、ACアダプタを抜き差ししないこと

感電のおそれがあります。

禁止

消費電力の大きな機器(コピー機、シュレッダー、空調機器、大型プリンタなど)と同じコンセントからは、電源をとらないこと

誤動作する可能性があります。

禁止

⚠注意

本装置を移動させる場合は、必ずACアダプタをコンセントから抜くこと
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

禁止

長期間、本装置を使用にならない時は、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜くこと

禁止

●電源コード、ACアダプタの取り扱いについて

ACアダプタをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないこと
電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災、感電のおそれがあります。

禁止

通電中のACアダプタに長時間ふれないこと
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどのおそれがあります。
肌の弱い方は、特にご注意ください。

禁止

本装置のACアダプタと他のプラグを隣接して差し込むときは、それぞれ無理な力がかからないようにコンセントに差し込むこと

禁止

ご使用上のお願い

●本装置の使用環境、保管場所および取り扱いについて

直射日光が当たる場所、しめ切った車の中、暖房機器の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

禁止

極端に低温になるところに置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

禁止

急激な温度変化を与えないでください。

結露が生じ故障、誤動作の原因となります。
結露が生じたときは、室内に置き、自然乾燥させてから電源を入れてご使用ください。

禁止

磁石、スピーカなど磁気を発するものの近くに置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

禁止

ほこりの多いところに置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。内部にほこりが入ったときは、お買いあげの販売店または「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」に点検を依頼してください。

禁止

振動が強いところに置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

禁止

風通しのよい場所に置いてください。

装置の通風口をふさいだり、装置の発する熱がこもりやすい場所に置いたりすると装置内部の温度が上がり、故障、誤動作の原因となります。

強制

お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。

変質、変形、変色の原因となります。

禁止

用途制限について

●本製品は人の生命に直接関わる装置等(*1)を含むシステムに使用できるよう開発、制作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと。

***1： 人の生命に直接関わる装置等とは、以下のものを言います。**
（生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器）

●本装置を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム(*2)に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮(*3)が必要となるので、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」に相談してください。

***2： 人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、以下のようなものを言います。**
（原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム）
（集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム）

***3： 特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フール・プルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することを言います。**

国内向けの仕様です

本製品の仕様は国内向けです。海外での保守サービスは行なっておりません。
また、本体付属の電源コードは、国内向けAC100Vの仕様なので海外では使用できません。

はじめに

このたびは東芝「無線LANアクセスポイント」をお買い求めいただき、ありがとうございます。
本書は、「無線LANアクセスポイント」の取り扱い方法および注意事項について説明しています。
ご使用にあたり、この説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分にご活用くださいますようお願いします。
また、本書は必要に応じてお使いいただけるように、取り出しやすい場所に保管してください。

●漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人　日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータ業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

●瞬時電圧低下対策について

この装置は、社団法人　日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

●電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

お願い 本装置の仕様は国内向けになっております。海外ではご使用にならないでください。

●お願い

・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
・購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気付きの点がございましたら、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」までご一報ください。
保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

●Trademarks

・Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NTは米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
・その他の商品名、商標は各社の商標または登録商標です。

本書の構成

本書の構成を次に示します。使用目的に合わせて必要なところからお読みください。

1章　ご使用の前に

本製品をお使いいただく前に知っておいて欲しいこと、注意などについて説明しています。

- ●梱包品を確認するとき
  - →「1同梱品の確認」
- ●本製品の取り扱いや注意事項を確認するとき
  - →「2設置について」「3取り扱いについて」「4使用上のお願い」
- ●本装置の各部の名称と機能を確認するとき
  - →「5各部の名称と機能」
- ●本装置を使用したネットワーク環境を確認するとき
  - →「6構成図」

2章　接続について

本製品の接続ついて説明しています。

- ●接続前の注意事項を確認するとき
  - →「1接続の前に」
- ●接続するとき
  - →「2接続方法」
    - ブリッジモードでの接続の場合
      「ブリッジモード」
    - ルーターモードでの接続の場合
      「ルーターモード（CATV/ADSL接続）」
    - ダイヤルアップ接続の場合
      「ダイヤルアップ接続」

次頁へつづく

3章　本装置の設定

本製品を使用するまでの設定方法について説明しています。

●本製品を使用するまでの設定の流れを確認するとき
→「1設定の流れ」

●本ネットワークアダプタ以外のネットワークアダプタを使用不可にするとき
→「2ネットワークアダプタの設定」

●アクセスポイントの設定の際、TCP/IPプロトコルを設定するとき
→「3TCP/IPプロトコルの設定」

Windows Me/98/95の場合
「Windows Me/98/95」

Windows 2000の場合
「Windows 2000」

Windows NT 4.0の場合
「Windows NT 4.0」

TCP/IPプロトコルが表示されていない場合
「TCP/IPプロトコルが表示されていないときは」

●Webブラウザの設定を確認するとき
→「4Webブラウザの設定の確認」

Internet Explorer5.0以降をご使用の場合
「Internet Explorer5.0以降」

Internet Explorer4.0をご使用の場合
「Internet Explorer4.0」

Netscape Navigator 3.0以降をご使用の場合
「Netscape Navigator3.0以降」

●Web上でのアクセスポイントの設定において、各モードごとの設定手順を確認するとき
→「5各モードごとの設定手順」

ブリッジモードでの設定手順を確認する場合
「ブリッジモード」

ルーターモードでの設定手順を確認する場合
「ルーターモード」

ダイヤルアップでの設定手順を確認する場合
「ダイヤルアップ接続」

次頁へつづく

3章　本装置の設定

●必要最低限のアクセスポイントの設定を行うとき
→「6アクセスポイントの設定-簡単設定」
●項目別にアクセスポイントの設定を行うとき
→「7アクセスポイントの設定-詳細設定」
SSID・チャンネルを変更する場合
「SSID・チャンネルの変更」
動作モードを変更する場合
「動作モードの変更」
IPアドレスを変更する場合
「IPアドレスの変更」
DHCPを設定する場合
「DHCPの設定」
暗号を変更する場合
「暗号の設定」
MACアドレスフィルタリングを設定する場合
「MACアドレスフィルタリングの設定」
パスワードを設定する場合
「パスワードの設定」
Web画面でIPアドレスを変更した場合
「Web画面でIPアドレスを変更したときは」
ローミング機能を設定する場合
「ローミング機能の設定」
●アナログ回線やISDN回線に接続してアクセスポイントの設定を行うとき
→「8アクセスポイントの設定-ダイヤルアップ接続の設定」
ダイヤルアップを接続設定する場合
「ダイヤルアップの接続設定」
インターネットに接続する場合
「インターネットの接続」
接続したインターネットを切断する場合
「インターネットの切断」

次頁へつづく

3章　本装置の設定

●無線LAN PCカード側で設定するとき
→「9無線LAN PCカード側での設定」
暗号を設定する場合
「 暗号の設定 」
ネットワーク設定を確認する場合
「 ネットワークの設定の確認 」
●使用不可にしたネットワークアダプタを使用可能に設定するとき
→「10ネットワークアダプタの元への戻し方について」

4章　故障かな？と思ったら

本装置が正常に動作しなかったり、何らかの問題が発生したと思われる時のハードウェア的な問題内容、及び対処方法について説明しています。

●本装置が正常に動作しなかったり、何らかの問題が発生したと思われるとき
→「1トラブルシューティング」

次頁へつづく

5章　付録

本製品の仕様、本書で使われている専門用語の解説について説明しています。

●初期設定を確認するとき
→「1初期設定一覧」

●本製品の仕様を確認するとき
→「2製品仕様」

●本書で使われている専門用語を確認するとき
→「3用語解説」

6章　修理サービスのご案内

技術的なご質問、修理のご依頼、お問い合わせについて説明しています。

●技術的なご質問、修理のご依頼、お問い合わせをするとき
→「1ユーザサポート窓口のご案内」

本書の読み方

■記号の意味

⚠警　告　・誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注　意　・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または、物的損害のみが発生する可能性のあることを示しています。

お願い　・データの消失や、故障、性能低下を起さないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。

メ　モ　・知っておくと便利なことを説明しています。

■画面の表し方

画面の全部、または一部を表します。

【例】

Total=××××KB

このように画面上または本文中の記号を×で表している場合は、実際には様々な数字や記号が入ります。

■入力するキーの表現

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを囲んで示しています。

Y キー…… を押してください。

1 キー…… を押してください。

Space キー…… を押してください。

■操作の表し方

操作や作業は、次のように示します。

【例】

操作が1つですむ場合は、次のように示します。

Y キーを押す

キーを「＋」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

Ctrl ＋ Alt ＋ Delete キーを押す

Ctrl キーと Alt キーを押したまま Delete キーを押します。

■用語について

本書では、次の用語について定義します。

本装置……「無線LANアクセスポイント」本体を示します。

システム……特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム(OS)を示します。

アプリケーション
または
アプリケーションソフト…アプリケーションソフトウェアを示します。

特長

本装置は、次のような特長をもっています。

◆ケーブルなどのわずらわしい配線が不要な高速ワイヤレス通信

◆IPマスカレード、DHCPクライアント/サーバー機能でネットワークの拡張がより簡単に

◆WEP、SSID、MACアドレスフィルタリングによる万全なセキュリティ

◆無線LAN　アクセスポイント、無線LAN　PCカードの設定もより簡単に

◆10BASE-T/100BASE-TXのLANポートとRS232Cポートを標準搭載

1章

ご使用の前に

本製品をお使いいただく前に知っておいて欲しいこと、注意などについて説明します。

1 同梱品の確認

主な同梱物を次にあげます。
万一、本製品に不都合な点が生じた場合は、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」までお問い合わせください。

●無線LANアクセスポイント（本装置）
●専用ACアダプタ
●壁掛け用ネジ
●電波に関する注意ラベル
●取扱説明書（本書）
●保証書

2 設置について

本装置の設置について

本製品を正しい使用環境にてお使いいただくことにより、本製品をより快適に、少しでも寿命を長くすることができます。
また、本装置は壁に掛けて使用することもできます。

お願い
- 本装置の電源がOFFになっていることを確認してください。
- 本装置に接続されている電源コードなど、すべてのケーブル類がはずれていることを確認してください。
- 十分な作業スペースをとってください。
- 平坦で滑りにくく、傷の付きにくい場所で作業を行ってください。

設置方法については以下のように行ってください。

壁に掛けて使用する場合

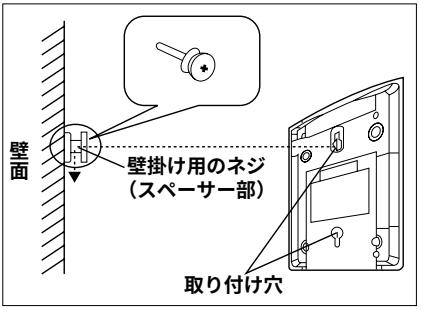
⚠注　意　・ベニヤ板など薄い板壁やボード板(石膏板)などには取り付けないでください。また、付属の壁掛け用ネジ以外は使用しないでください。落下するおそれがあります。

1 壁掛けをする場所に壁掛け用のネジを取り付ける

取り付け位置について
UTPストレートケーブル・専用ACアダプタの接続が可能であり、LED表示が見えやすい場所に設置してください。

2 本装置裏面の取り付け穴をスペーサー部にはめ込み、引き下げて固定する

本装置の取り付け方向は、上向き・下向きのどちらでも可能です。



お願い
- 取り付ける際は、取り付け穴の上下どちらか一方をネジのスペーサー部にはめ込んでください。

3 取り扱いについて

電源コードについて

電源コードは大切に扱ってください。コードに傷がついたり、電線が露出していると火災・感電の危険があります。次のことを必ず守ってください。

⚠注　意

・ACアダプタは、付属のものを使用してください。
市販のACアダプタや他の電気製品のACアダプタには、形状が同じでも定格電圧・電流が異なるもの、＋、－の極性が異なるものがあります。

お願い

・コンセントから抜くときは必ずACアダプタを持って引き抜いてください。
・コードの上に重いものを載せないでください。
・コードを無理に曲げたり、ねじったり、結んだり、つぎ足したりしないでください。
・熱器具に触れないよう、十分な距離をとってください。

本装置について

⚠注　意

・本装置の各種ランプが点灯中は、データの送受信中などです。
次のことを行うと、送受信中のデータが消失することがあります。
・本装置に接続されている各種ケーブル類をはずす
・パソコン本体の電源を切る

4 使用上のお願い

日常のお手入れと保管･運搬

●装置外面部の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。汚れがひどい時は、中性洗剤を少量含ませた布で拭き取ったうえ、乾いた布で乾拭きしてください。
●アルコール、シンナーなどの有機溶剤は、印刷された文字が消えたり、装置の材質を侵す危険がありますので、使用しないでください。
また殺虫剤などをかけないようにしてください。
●本装置に電源の入った状態での移動は絶対に行わないでください。
本装置を損傷することがあります。
●移動時に落とす、ぶつけるなどの強いショックを与えないようにしてください。誤動作したり、故障することがあります。
●輸送中の破損防止のため、ご購入時の梱包箱と梱包材をご使用ください。

妨害電波・電圧について

本装置はVCCI(情報処理装置等電波障害自主規制協議会)基準に適合している製品ですが、絶対に障害が発生しないということではありません。テレビ、ラジオへの影響がある場合は次のことを試みてください。

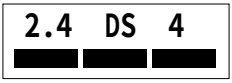
●テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える。
●テレビ、ラジオに対する本装置の方向を変える。
●テレビ、ラジオから離す。
●テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う。
●受信機に屋外アンテナを使う。
●平衡フィーダを同軸ケーブルに替える。
●コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてみる。

以上のような対策を行なってみてもまったく効果がない場合は、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」へご相談ください。
VCCIマークのついていない周辺機器を接続すると、テレビ、ラジオなどに影響が出ることがありますのでご注意ください。

電波に関するご注意

本製品は2.4GHz帯の周波数を使用します。本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- ●本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ●万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用チャンネルを変更するか又は電波の発射を停止した上、販売店にご連絡頂き、混信回避のための処置等（パーティションの設置など）についてご相談してください。
- ●その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、販売店へお問い合わせください。



使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

規制物資に関する注意

この製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制物資（又は役務）に該当します。
日本国外へ輸出する場合は、同法に基づく輸出許可が必要です。

株式会社 東芝

This product falls under regulated products (or services) provided in the Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law of Japan.

If you would export it from Japan, you would be required to obtain the export license under the law.

TOSHIBA Co., Ltd.

異常や故障の場合

以下のような場合は、ただちにパソコン本体および本装置の電源を切り、専用ACアダプタをACコンセントから抜いて、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」にご相談または修理を依頼してください。

- 故障
- 異常な臭いや過熱・異音
- 正しく接続しているにもかかわらず表示されない
- 煙が出る

⚠警　告　ご自分で修理や改造、または分解しないでください。
火災や感電、ケガのおそれがあります。

修理・サービスについて

保証期間中および保証期間後の保守サービスについては、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」にご相談ください。

廃棄について

本装置、および付属品の廃棄については、地方自治体の条例、または規則に従ってください。

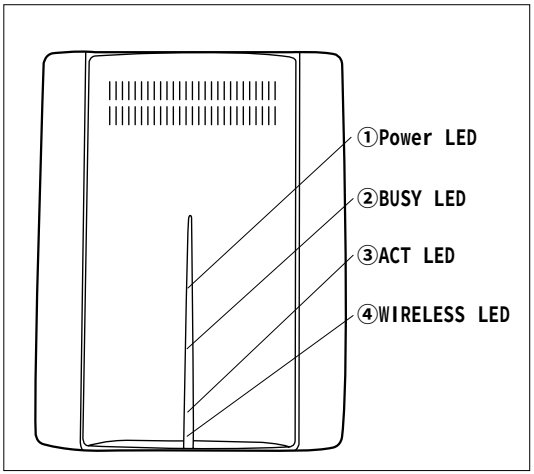
5 各部の名称と機能

本装置正面

①Power LED
電源のオン/オフ状態を表示します。オン状態のときに点灯します。

②BUSY LED
起動時など、通信ができない状態やダイヤルアップ中に点灯します。

③ACT LED
有線側LANからのデータを送受信しているときに点灯します。



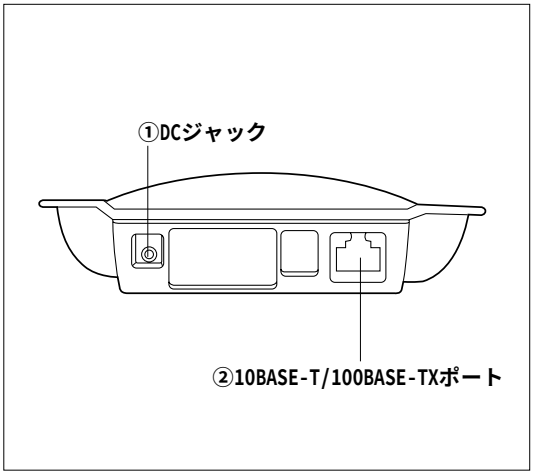
（注）図と異なる場合があります。

④WIRELESS LED
無線側LANからのデータを送受信しているときに点灯ます。

本装置背面

①DCジャック
専用ACアダプタのDCプラグを差し込むコネクタです。

②10BASE-T/100BASE-TXポート
HUBなどとUTPケーブルで接続する際に使用するコネクタです。



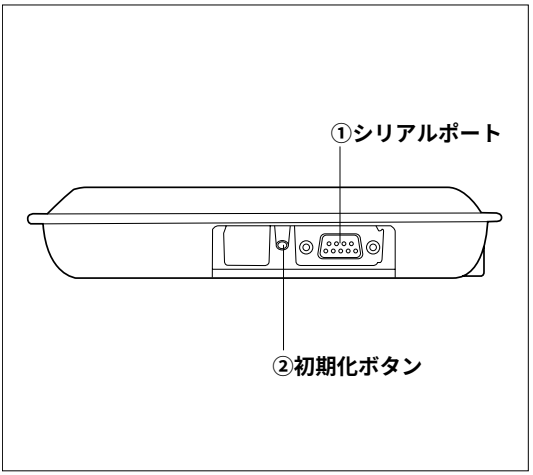
（注）図と異なる場合があります。

本装置側面

側面にはカバーがあります。カバーを開けて確認してください。

①シリアルポート
RS232Cケーブルを使用して、TA（ターミナルアダプタ）などに接続し、ダイヤルアップ接続を行います。

②初期化ボタン
パスワードや設定を忘れてしまった場合は、この初期化ボタンを4秒以上押し、設定を初期値に戻します。



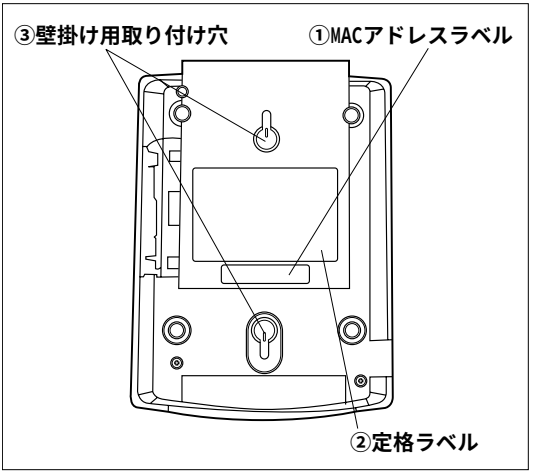
（注）図と異なる場合があります。

本装置裏面

①MACアドレスラベル
MACアドレスが記載されています。このアドレスを使用して、通信を行います。

②定格ラベル
本製品を安全に正しくお使いいただくために、「取扱上のご注意」は必ずお読みください。シリアル番号はサポートを受ける際に必要となります。

②壁掛け用取り付け穴
本製品を壁に掛けて使用する場合、取り付け穴をスペーサー部にはめ込みます。

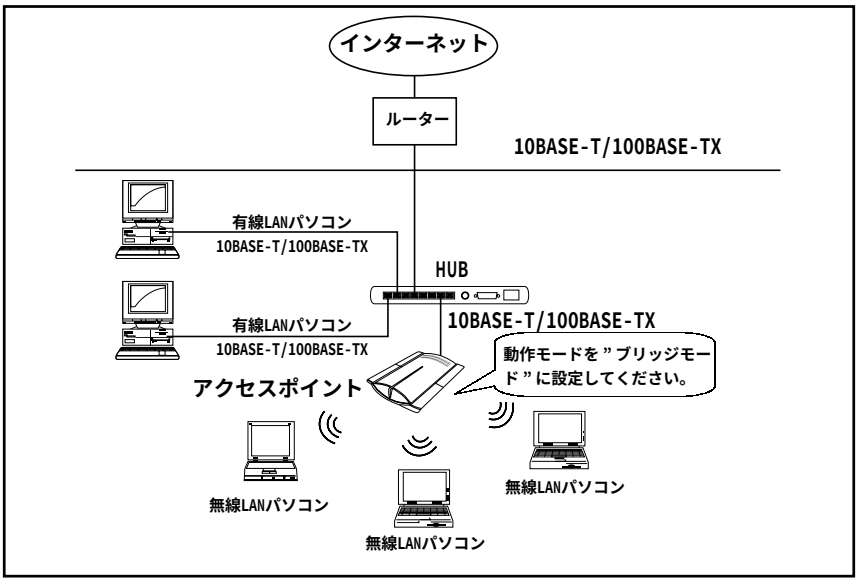


（注）図と異なる場合があります。

6 構成図

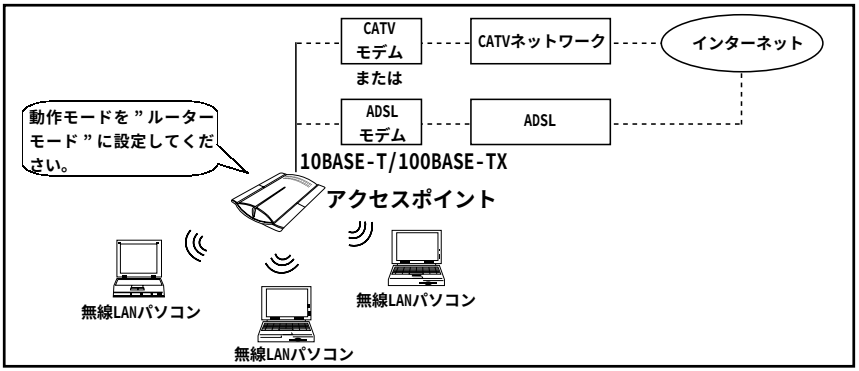
ブリッジモード

既存の有線LAN接続環境に無線LANを混在させるブリッジモードでのネットワーク環境を構築します。



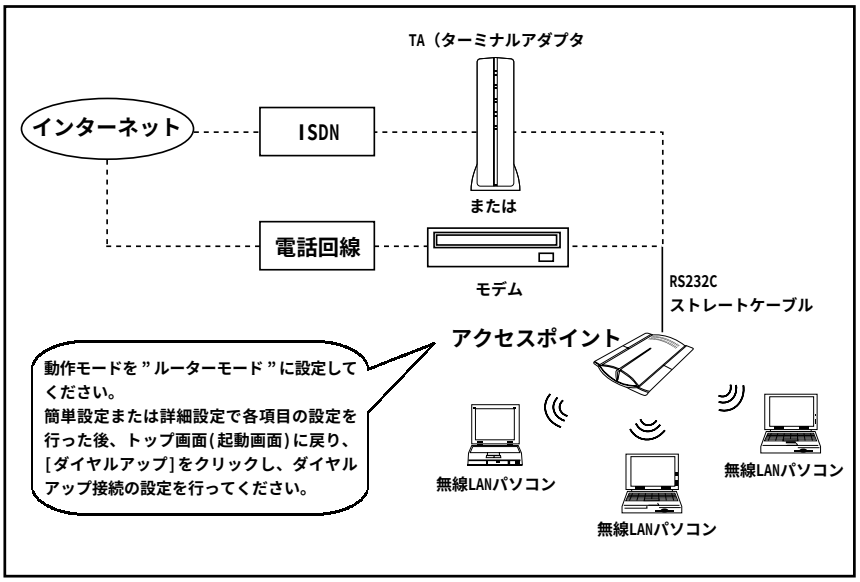
ルーターモード（CATV/ADSL接続）

CATVモデムまたはADSLモデムと接続し、ルーターモードでのネットワーク環境を構築します。



ダイヤルアップ接続

TA（ターミナルアダプタ）またはモデムと接続し、ダイヤルアップ接続でのネットワーク環境を構築します。



2章

接続について

本装置の接続ついて説明しています。

1 接続の前に

ケーブルを接続する際には、次のことにご注意ください。

・本装置の電源を切る
・ケーブル類の取り付け/取りはずしは、必ずコネクタを持って行う
・コネクタの形状に注意して挿入する

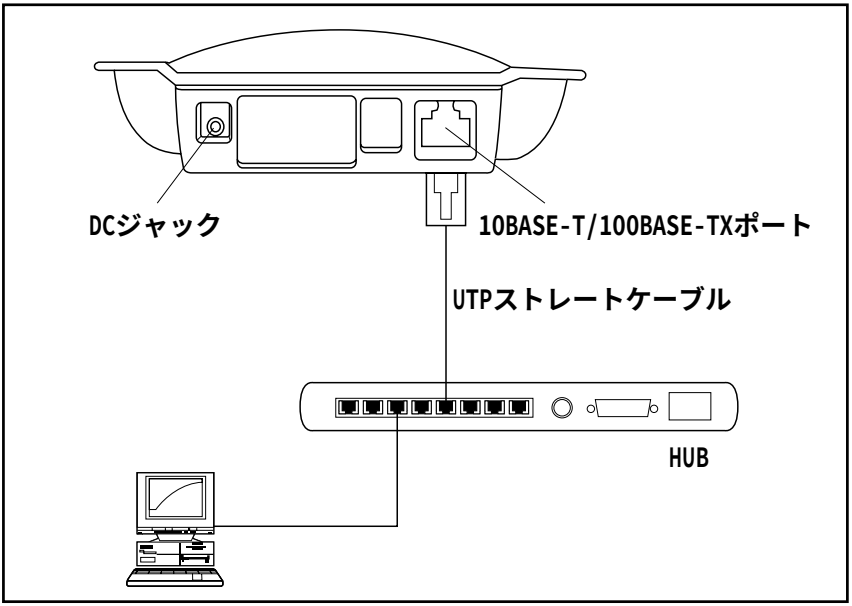
お願い
・静電気の発生しやすい環境（じゅうたんの上など）での作業は行わないでください。
静電気を帯びることにより、電子部品が故障することがあります。
・作業は湿気やホコリの少ない直射日光のあたらない場所で行ってください。
・専用ACアダプタ、電源コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、重いものをのせたりしないでください。
ショート、断線による故障のおそれがあります。
・本製品を改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
・専用ACアダプタを本装置に接続しないときは、専用ACアダプタをACコンセントに接続しないでください。

2 接続方法

ブリッジモード

1 背面にある10BASE-T/100BASE-TXポートに、UTPストレートケーブルの一方を接続し、もう一方をHUBに接続する

2 専用ACアダプタをDCジャックに差し込む

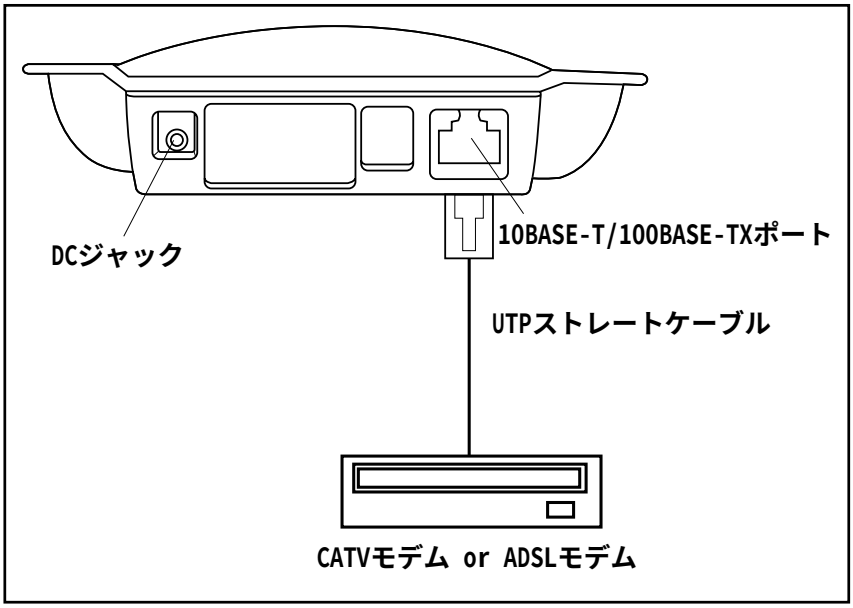


（注）図と異なる場合があります。

ルーターモード（CATV/ADSL接続）

1 背面にある10BASE-T/100BASE-TXポートに、UTPストレートケーブルの一方を接続し、もう一方をCATVモデムまたはADSLモデムに接続する

2 専用ACアダプタをDCジャックに差し込む



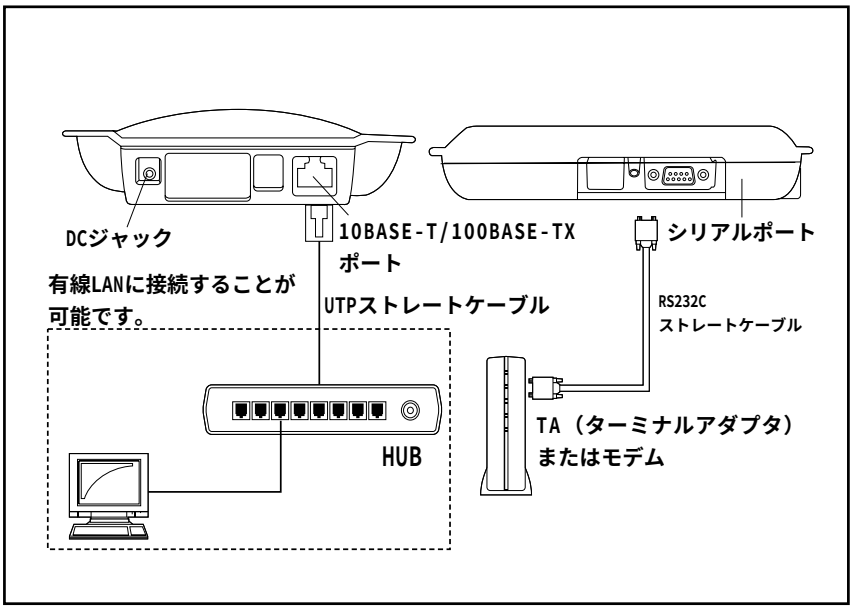
（注）図と異なる場合があります。

ダイヤルアップ接続

1 側面にあるシリアルポートに、RS232Cストレートケーブルの一方を接続し、もう一方をTA(ターミナルアダプタ)またはモデムのシリアルポートに接続する

2 専用ACアダプタをDCジャックに差し込む

3 背面にある10BASE-T/100BASE-TXポートに、UTPストレートケーブルの一方を接続し、もう一方をHUBに接続する



（注）図と異なる場合があります。

3章

本装置の設定

本製品を使用するまでの設定について説明します。

1 設定の流れ

本製品を使用するまでの設定の流れを説明します。
無線LAN PCカードを装着したパソコンより、アクセスポイントの設定をします。

⚠注 意 **必ず下記の手順で行ってください。**
異なった手順で操作を行うと、正常に動作しなくなります。

I ネットワークアダプタの設定

本無線LAN PCカード（IPC5038A）以外のネットワークアダプタを使用不可能に設定します。

⇩

II TCP/IPプロトコルの設定

LANに接続するためのネットワークを設定します。

⇩

III Webブラウザーの設定の確認

設定画面を表示するための確認をします。

⇩

IV アクセスポイントの設定

Webブラウザ上でアクセスポイントの設定を行います。
●簡単設定 ●詳細設定 ●ダイヤルアップ接続の設定

⇩

V 無線LAN PCカード側の設定

無線LAN PCカードの設定を変更をします。

⇩

VI ネットワークアダプタの元への戻し方

無線LANの基本的な設定を終了し、既存のLANやダイヤルアップネットワークなどに対して「ネットワークの設定」を変更します。

2 ネットワークアダプタの設定

本無線LAN PCカード（IPC5038A）以外のネットワークアダプタが内蔵されているパソコンをご使用の場合、正常に動作しません。以下の手順を行い、ネットワークアダプタを使用不可にし、本無線LAN PCカードをインストールします。以下の説明は、Windows98を例としています。

1 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択する

2 「システム」をダブルクリックする

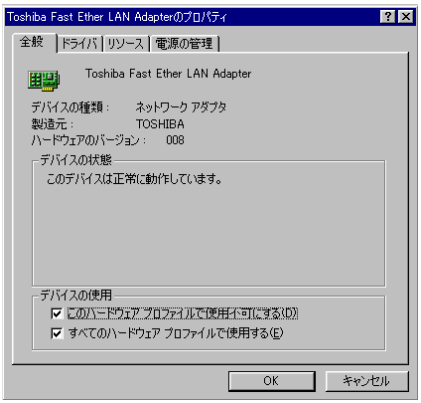
［システムのプロパティ］画面が表示されます。

3 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、内蔵されているネットワークカードを「ネットワークアダプタ」欄より選択し、「プロパティ」をクリックする

右の画面が表示されます。

4 「全般」タブの中の「デバイスの使用」で「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」にチェックを入れ[OK]をクリックする

［システムのプロパティ］画面の使用を不可にしたアダプターに赤い×印が付きます。



5 「OK」をクリックする

6 本無線LAN PCカードのインストールをする

本無線LAN PCカードのインストールおよび設定については、無線LAN PCカードの取扱説明書を参照してください。

⚠注　意

- **Webブラウザは、「Internet Explorer4.0」以降、「Netscape Navigater3.0」以降を使用してください。**

3 TCP/IPプロトコルの設定

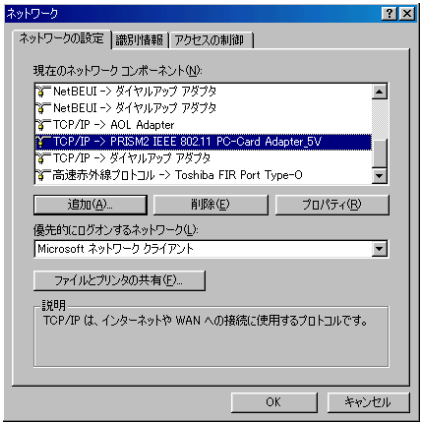
アクセスポイントの設定は、Webブラウザ上で行うことが可能です。パソコンからアクセスして設定を変更してください。本製品は無線で設定することが可能です。

Windows Me/98/95

1 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択する

2 「ネットワーク」をダブルクリックする

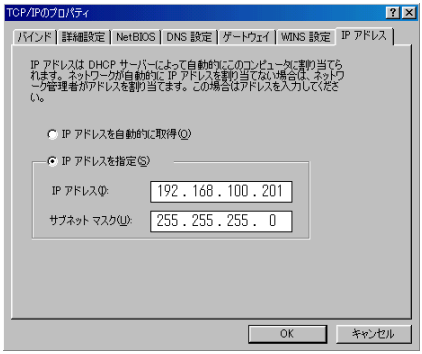
[ネットワーク]画面が表示されます。



3 使用する無線LAN PCカード名が表示されている「TCP/IP」を選択し[プロパティ]をクリックする

TCP/IPプロトコルが表示されていない場合は「TCP/IPプロトコルが表示されていないときは」を参照してください。

[TCP/IPのプロパティ]画面が表示されます。



4 「IPアドレス」タブをクリックする

5 「IPアドレスを指定」を選択しWebブラウザに接続するため、以下のように設定し「OK」をクリックする

パソコン1　　IPアドレス：192.168.100.201
　　サブネットマスク：255.255.255.0
２台目のIPアドレスは、
パソコン2　　IPアドレス：192.168.100.202
　　サブネットマスク：255.255.255.0

6 [ネットワーク]画面に戻り、「今すぐ再起動しますか？」と表示されたら[はい]をクリックする

Windowsが再起動されます。

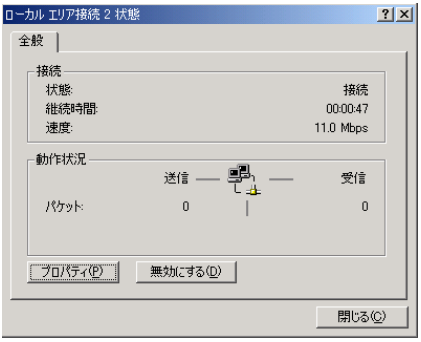
Windows 2000

1 「スタート」-「設定」-「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選択する

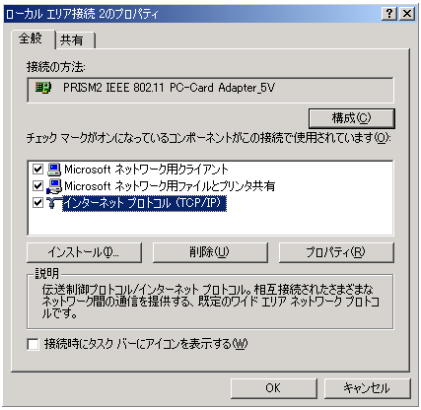
2 「ローカルエリア接続」をダブルクリックする

[ローカルエリア接続状態]画面が表示されます。

3 「プロパティ」をクリックする



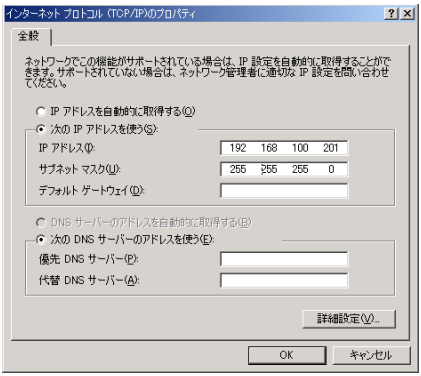
「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。



4 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックする

TCP/IPプロトコルが表示されていない場合は「TCP/IPプロトコルが表示されていないときは」を参照してください。

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面が表示されます。



5 「次のIPアドレスを使う」を選択して、Webブラウザに接続するため、以下のように設定し「OK」をクリックする

パソコン1　　IPアドレス：192.168.100.201
　　サブネットマスク：255.255.255.0

２台目のIPアドレスは、

パソコン2　　IPアドレス：192.168.100.202
　　サブネットマスク：255.255.255.0

6 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面と「ローカルエリア状態」画面を閉じる

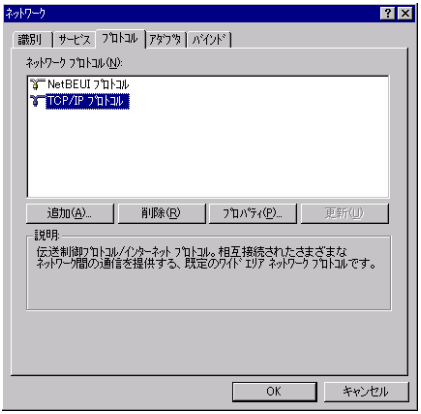
Windows NT4.0

⚠注　意　Windows NT4.0では、3.3V仕様のPCMCIAカードをサポートしていません。ご使用になる際は、「CardWizard for Windows NT4.0」などのカードサービスがあらかじめインストールされていることが必要です。詳しくはカード側の取扱説明書を参照してください。

1 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択する

2 「ネットワーク」をダブルクリックする

[ネットワーク]画面が表示されます。



3 「プロトコル」タブの中の「TCP/IPプロトコル」を選択し、「プロパティ」をクリックする

TCP/IPプロトコルが表示されていない場合は「TCP/IPプロトコルが表示されていないときは」を参照してください。

「Microsoft TCP/IPのプロパティ」画面が表示されます。

4 「アダプタ」欄より、インストールされている無線LANアダプタを選択する

5 「IPアドレスを指定する」を選択し、Webブラウザに接続するため、以下のように設定し[OK]をクリックする

パソコン1　　IPアドレス：192.168.100.201
　　サブネットマスク：255.255.255.0

２台目のIPアドレスは、
パソコン2　　IPアドレス：192.168.100.202
　　サブネットマスク：255.255.255.0

6 「今すぐ再起動しますか？」と表示されたら「はい」をクリックする

TCP/IPプロトコルが表示されていない場合

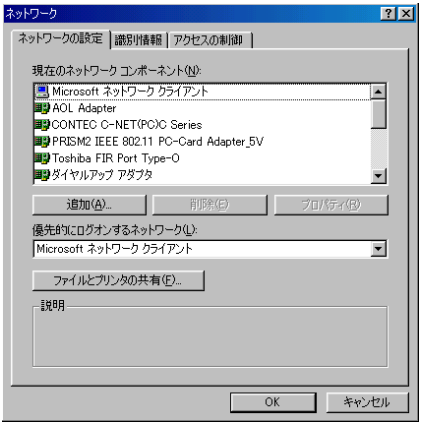
TCP/IPプロトコルが表示されていなかった場合は、以下の手順に従い設定を行なってください。

Windows Me/98/95の場合

1 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択する

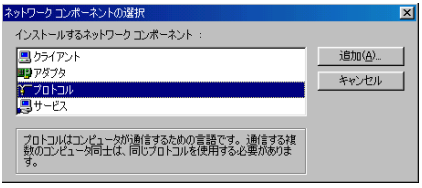
2 「ネットワーク」をダブルクリックする

［ネットワーク］画面が表示されます。



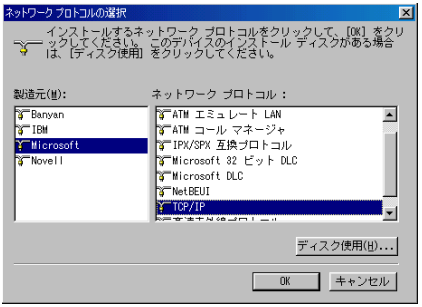
3 [追加]をクリックする

「ネットワークコンポーネントの選択」画面が表示されます。



4 「プロトコル」を選択して、[追加]をクリックする

「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されます。



5 「製造元」の欄は、「Micorosoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」の欄は、「TCP/IP」を選択して、「OK」をクリックする

もう一度「ネットワーク」画面を表示させて、「TCP/IPプロトコル」が追加されていることを確認してください。

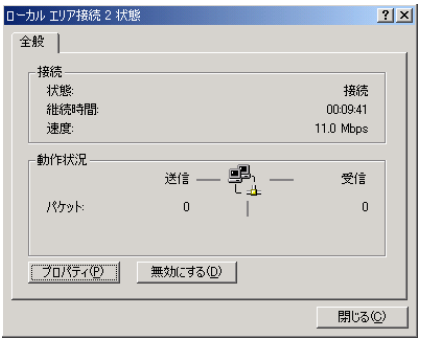
Windows 2000の場合

1 「スタート」-「設定」-「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選択する

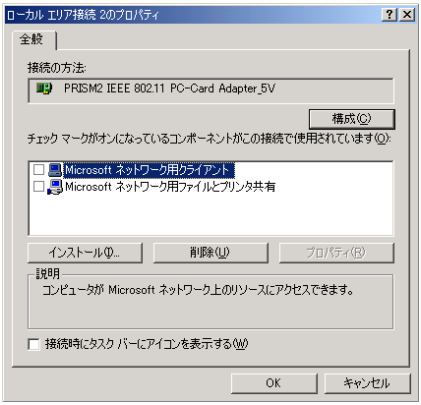
2 「ローカルエリア接続」をダブルクリックする

[ローカルエリア接続状態]画面が表示されます。

3 「プロパティ」をクリックする

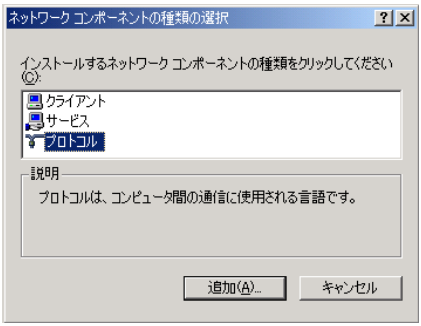


「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。



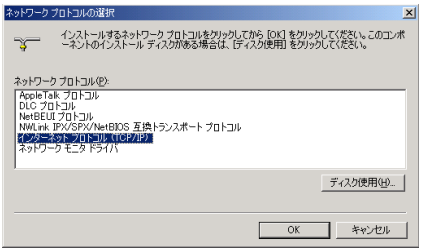
4 [インストール]をクリックする

「ネットワークコンポーネントの種類の選択」画面が表示されます。



5 「プロトコル」を選択して、「追加」をクリックする

「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されます。



6 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択して、「OK」をクリックする

もう一度「ローカルエリア接続のプロパティ」画面に戻りますので「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が追加されていることを確認してください。

Windows NT4.0の場合

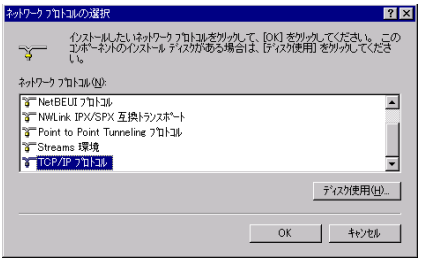
1 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択する

2 「ネットワーク」をダブルクリックする

[ネットワーク]画面が表示されます。

3 「プロトコル」タブをクリックして、[追加]をクリックする

「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されます。



4 「TCP/IPプロトコル」を選択して、「OK」をクリックする

もう一度「ネットワーク」画面を表示させて「TCP/IPプロトコル」が表示されていることを確認してください。

4 Webブラウザの設定の確認

Web画面上でアクセスポイントの設定をする際、パソコン側にプロキシの設定がされていると、設定画面の表示ができなくなります。以下の手順でプロキシの設定がされていないか確認してください。また、ダイヤルアップ接続で設定されている場合は、LAN接続に切り替えます。

Internet Explorer 5.0以降をご使用の場合

1 Internet Explorerを起動する

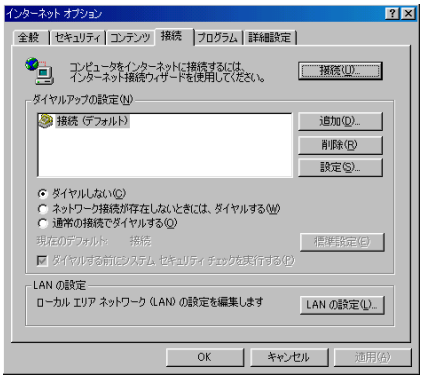
2 「ツール」-「インターネットオプション」を選択する

[インターネットオプション]画面が表示されます。

3 「接続」タブをクリックする

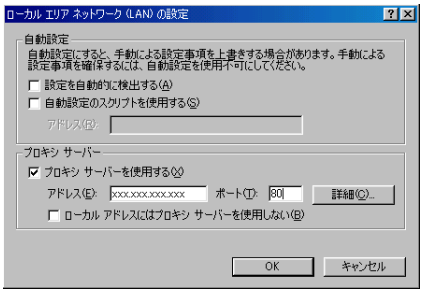
「ダイヤルアップ設定」欄の「ダイヤルしない」にチェックされていることを確認します。

4 「LANの設定」をクリックする



[ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定]画面が表示されます。

5 「プロキシサーバーを使用する」にチェックがされている場合は、[詳細]をクリックする



「プロキシサーバーを使用する」にチェックがされていない場合は、[OK]をクリックし、画面を終了させてください。

[プロキシの設定]画面が表示されます。

6 「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」の欄に、本装置の無線LAN側のIPアドレスを入力し、[OK]をクリックする

初期設定の場合は、
「192.168.100.200」と入力します。

Internet Explorer 4.0をご使用の場合

1 Internet Explorerを起動する

2 「表示」-「オプション」を選択する

[オプション]画面が表示されます。

3 「接続」タブをクリックする

「ダイヤル」の欄の「必要時にインターネットに接続する」にチェックがされていないことを確認します。

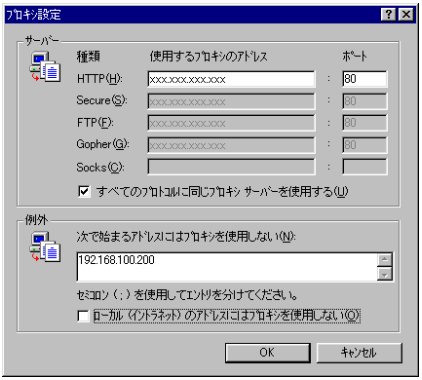
4 「プロキシサーバー経由で接続する」にチェックがされている場合は、「設定」をクリックする

「プロキシサーバー経由で接続する」にチェックがされていない場合は、[OK]をクリックし画面を終了させてください。

「プロキシ設定」画面が表示されます。

5 「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」の欄に、本装置の無線LAN側のIPアドレスを入力し、[OK]をクリックする

初期設定の場合は、
「192.168.100.200」と入力します。



Netscape Navigator 3.0以降をご使用の場合

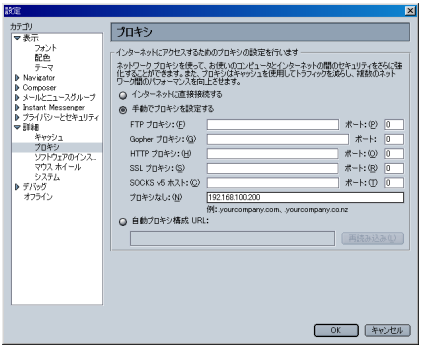
1 Netscape Navigatorを起動する

2 [編集]-[設定]を選択する

「設定」画面が表示されます。

3 「カテゴリ」の中の[詳細]-「プロキシ」を選択する

「プロキシ」画面が表示されます。
「インターネットに直接接続する」に選択されている場合は、「OK」をクリックし、画面を終了させてください。



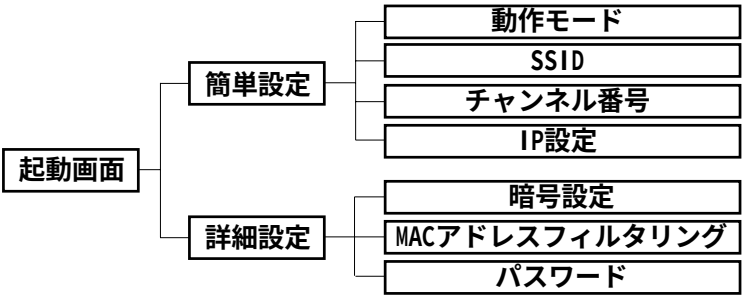
4 「手動でプロキシを設定する」にチェックを入れて「プロキシなし」の欄に、本機の無線LAN側のIPアドレスを入力し、「OK」をクリックする

初期設定の場合は、「192.168.100.200」と入力します。

5 各モードごとの設定手順

各モードごとの設定手順を説明します。
本製品は、簡単設定の項目を設定するだけで動作しますが、セキュリティを強化するためには詳細設定の項目を設定してください。

ブリッジモード



簡単設定

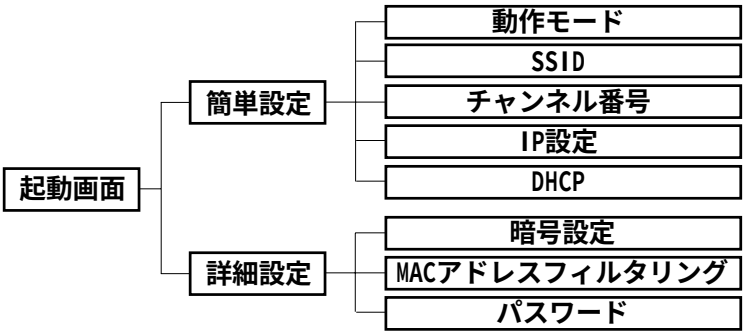
動作モード	ブリッジモードに設定
SSID	SSIDを設定
チャンネル番号	通信チャンネルを設定
IP設定	IPアドレス：アクセスポイント側のIPアドレスを設定
	サブネットマスク：アクセスポイント側のサブネットマスクを設定

詳細設定

暗号設定	WEPキーより、使用する/しないを選択。使用する場合は、64/128ビットのどちらかを選択
MACアドレスフィルタリング	[追加]をクリックし、登録番号を表示させMAC番号・コメントを入力して登録
	MACフィルタ機能欄で、使用する/しないを選択
	一件ずつ削除：削除したい登録番号を入力し削除
	一括削除：削除したい登録番号範囲を入力し削除
パスワード	新パスワード：任意の新しいパスワードを設定
	パスワード確認：新しいパスワードを確認し設定

※詳細設定項目の中の、簡単設定と重複する項目は省いています。

ルーターモード

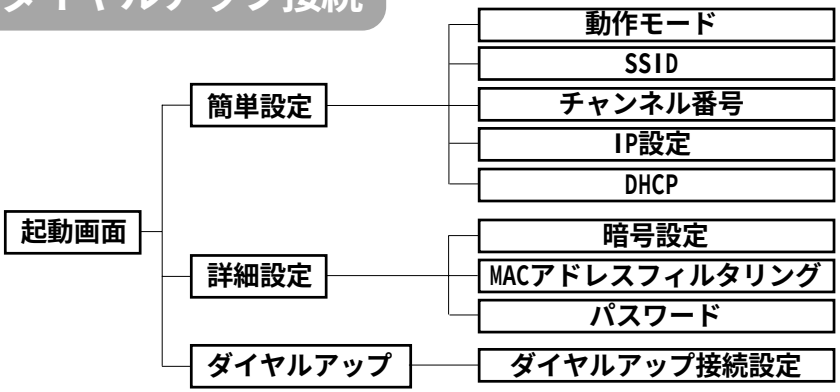


簡単設定

動作モード	ルーターモードに設定
SSID	SSIDを設定
チャンネル番号	通信チャンネルを設定
IP設定	有線LAN IPアドレス：固定のIPアドレス、または自動的に取得したIPアドレスを設定。
	有線LAN サブネットマスク：固定のIPマスク、あるいは自動的に取得したサブネットマスクを設定
	無線LAN IPアドレス：無線側のIPアドレスを設定
	無線LAN サブネットマスク：無線側のサブネットマスクを設定
	ゲートウェイ：ゲートウェイを設定
DHCP	DHCPクライアント：DHCPクライアントを使用する/しないを設定
	DHCPサーバー：DHCPサーバーを使用する/しないを設定
	使用する場合：割り当てる先頭IPアドレスと台数を設定
	DNSサーバー　プライマリ：DNSサーバーを設定
	DNSサーバー　セカンダリ：複数DNSサーバーがあればそのDNSサーバーを設定

※詳細設定は、ブリッジモードを参照してください。

ダイヤルアップ接続



簡単設定

動作モード	ルーターモードに設定
SSID	SSIDを設定
チャンネル番号	通信チャンネルを設定
IP設定	有線LAN IPアドレス：固定のIPアドレス、または自動的に取得したIPアドレスを設定。
	有線LAN サブネットマスク：固定のIPマスク、あるいは自動的に取得したサブネットマスクを設定
	無線LAN IPアドレス：無線側のIPアドレスを設定
	無線LAN サブネットマスク：無線側のサブネットマスクを設定
	ゲートウェイ：初期設定のまま設定
DHCP	DHCPクライアント：DHCPクライアントを使用する/しないを設定
	DHCPサーバー：DHCPサーバーを使用する/しないを設定
	使用する場合：割り当てる先頭IPアドレスと台数を設定
	DNSサーバー　プライマリ：DNSサーバーを設定
	DNSサーバー　セカンダリ：複数DNSサーバーがあればそのDNSサーバーを設定

※詳細設定は、ブリッジモードを参照してください。

ダイヤルアップ

接続先名	接続するプロバイダ名を設定
電話番号	接続する電話番号を設定
ユーザー名	接続時に認証するIDを設定
パスワード	接続時に認証するパスワードを設定
認証方式	認証方式をPAP/CHAPから選択
接続回線	電話回線の種類をトーン/パルスから選択
初期化コマンド	TA/モデムに送信するコマンドを入力
シリアルポートスピード	TA/モデムとのデータ転送速度を選択
自動接続	ダイヤルアップ接続を自動/手動どちらで行うかを選択
切断アイドル時間	自動的に接続切断するまでの時間の設定

6 アクセスポイントの設定-簡単設定

Webブラウザ上で、アクセスポイントの設定を行ないます。

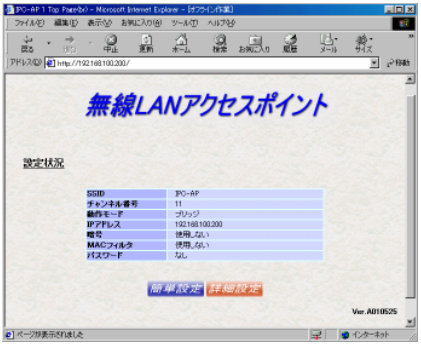
⚠注　意

- **Webブラウザは、「Internet Explorer4.0」以降、「Netscape Navigator3.0」以降を使用してください。**
- **Webブラウザ上の[進む]・[戻る]ボタンをクリックしても設定は反映されません。**
- **設定画面を「お気に入り」などに登録し、途中から設定することはできません。設定する際は必ず起動画面から入り設定をしてください。**

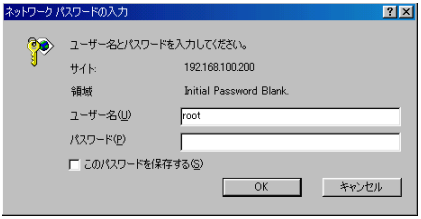
1 Webブラウザを起動し、アドレスに「http://192.168.100.200」と入力し、「Enter」キーを押す

Webブラウザに、設定画面が表示されます。

2 [簡単設定]をクリックする



「ネットワークパスワードの入力」画面が表示されます。

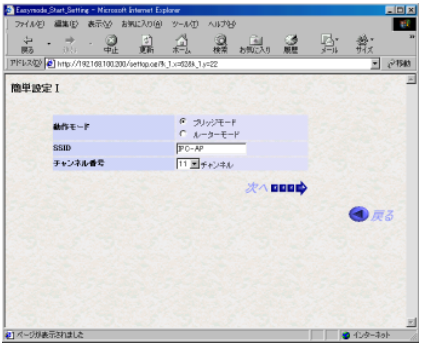


3 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「OK」をクリックする

初期設定は、「ユーザー名」は”root”とし、パスワードは設定されていません。

起動画面から先に進む時、一度だけ「ネットワークパスワードの入力」画面が表示され、ユーザー名とパスワードの入力要求があります。このパスワードは、ブラウザーを終了させるまで有効となります。

「簡単設定Ｉ」が表示されます。



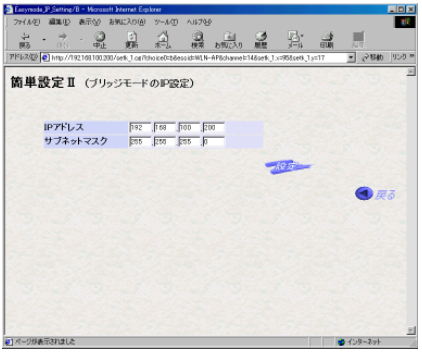
4 「動作モード」・「SSID」・「チャンネル番号」の設定を行い、「次へ」をクリックする

初期設定は以下のようになっています。
動作モード：ブリッジモード
SSID：IPC-AP
チャンネル：11チャンネル
セキュリティ保護のため、新しいSSIDを設定することをお勧めします。

⚠注　意

- **ダイヤルアップ接続する場合は、必ず動作モードを”ルーターモード”に設定してください。**
- **複数のアクセスポイントが設置してある場合、電波の干渉を防ぐために、異なるチャンネルで極力5チャンネル以上間隔をあけて設定してください。**
  設定例：チャンネル1・6・11・14
- **SSIDの変更を行なうと設定終了後、設定画面に戻れません。Webブラウザを終了させ、パソコン側のSSIDを変更し、再度Webブラウザを起動してください。「無線LAN PCカード側の設定」を参照してください。**

「簡単設定Ⅱ」が表示されます。

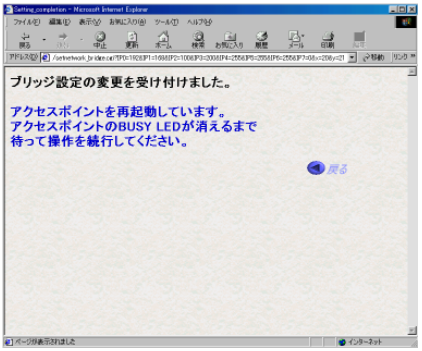


5 「IPアドレス」・「サブネットマスク」を入力して、[設定]をクリックする

初期設定は以下のようになっています。
IPアドレス：192.168.100.200
サブネットマスク：255.255.255.0
設定方法が分からないときは、「IPアドレスの割り当て方法が分からない」を参照してください。

6 「設定」をクリックする

「ブリッジ設定の変更を受け付けました」と表示され、アクセスポイントが再起動されます。



⚠注　意　**IPアドレスの変更を行なうと次回からWebブラウザの設定画面が起動しなくなります。「Web画面でIPアドレスを変更したときは」を参照してください。**

以後、設定を変更するときは、詳細設定で設定変更することをお勧めします。

「簡単設定Ⅱ」が表示されます。

5 有線LAN・無線LANの「IPアドレス」・「サブネットマスク」と「ゲートウェイ」を設定し、「次へ」をクリックする

初期設定は以下のようになっています。

有線LAN

IPアドレス：192.168.10.20

サブネットマスク：255.255.255.0

無線LAN

IPアドレス：192.168.100.200

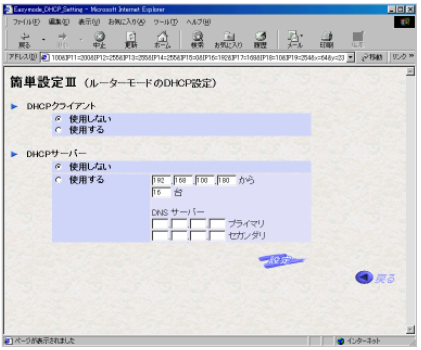
サブネットマスク：255.255.255.0

ゲートウェイ：192.168.10.254

設定方法が分からないときは、「IPアドレスの割り当て方法が分からない」を参照してください。

⚠注　意　**IPアドレスの変更を行なうと次回からWebブラウザの設定画面が起動しなくなります。「Web画面でIPアドレスを変更したときは」を参照してください。**

「簡単設定Ⅲ」が表示されます。



6 あらかじめ有線LAN側にIPアドレスが固定されている場合は、DHCPクライアントを「使用しない」に設定し、IPアドレスの自動割り当てを使用してIPアドレスを受けたい場合は「使用する」に設定する

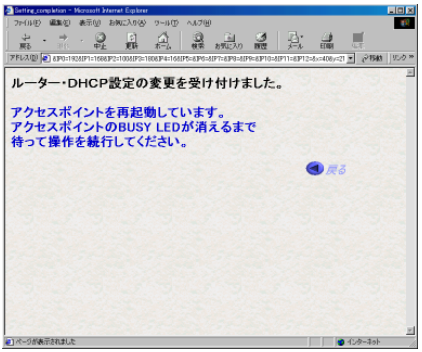
7 無線LAN側パソコンの設定で、固定IPアドレスを設定する場合はDHCPサーバーを「使用しない」に設定する IPアドレスを自動的に振り分けて設定する場合は「使用する」に設定する 「使用する」に設定した場合は最初のIPアドレスとその最初のIPアドレスから割り当てたい台数の設定をする

初期設定は以下のようになっています。
DHCPサーバー：192.168.100.180から16台

DNSサーバーは、プロバイダより指定されたアドレスを設定してください。
DNSサーバーのアドレスはパソコン側にも設定してください。

8 [設定]をクリックする

「ルーター・DHCP設定の変更を受け付けました」と表示され、アクセスポイントが再起動されます。



以後、設定を変更するときは、詳細設定で設定変更することをお勧めします。

7 アクセスポイントの設定-詳細設定

⚠注 意

- **Webブラウザは、「Internet Explorer4.0」以降、「Netscape Navigator3.0」以降を使用してください。**
- **Webブラウザ上の[進む]・[戻る]ボタンをクリックしても設定は反映されません。**
- **設定画面を「お気に入り」などに登録し、途中から設定することはできません。設定する際は必ず起動画面から入り設定をしてください。**

詳細設定では、各項目別に設定することができます。

⚠注 意

ここから先で使用している画面は動作モードが「ルーターモード」に設定されている場合を例としています。動作モードを「ブリッジモード」に設定した場合は画面が異なる場合があります。

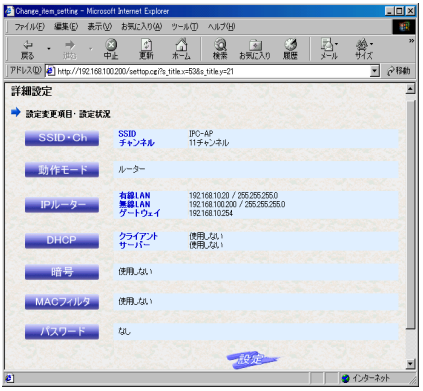
1 設定画面を表示します。

2 「詳細設定」をクリックする

[ネットワークパスワードの入力]画面が表示された場合、「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「OK」をクリックしてください。
初期設定は、「ユーザー名」は“root”とし、パスワードは設定されていません。
詳細設定の画面が表示されます。

3 設定を変更したい項目のボタンをクリックする

それぞれの設定画面に変わります。



⚠注 意

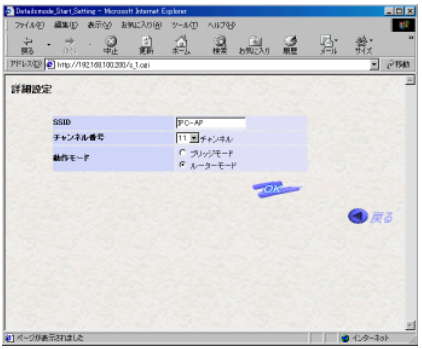
各設定画面で設定を完了し、[OK]ボタンをクリックした段階ではまだ設定は有効となっていません。
[OK]ボタンをクリックし詳細設定の画面に戻って[設定]ボタンをクリックすることによって設定は有効となります。

SSID・チャンネルの変更

SSIDは、大文字・小文字の区別があり、半角英数字32文字まで入力することができます。
同じSSIDを設定しているパソコン同士で通信を行うことができます。

1 「アクセスポイントの変更」に従って、詳細設定の画面を表示します。

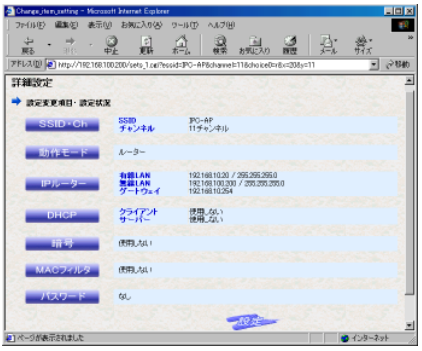
2 [SSID・Ch]をクリックする



設定画面が表示されます。

3 「SSID」・「チャンネル番号」に変更内容を入力して、「OK」をクリックする

「SSID」は大文字・小文字の区別があり、半角英数字で32文字まで入力できます。
初期設定は以下のようになっています。
SSID：IPC-AP
チャンネル番号：11チャンネル



⚠注 意 **複数のアクセスポイントが設置してある場合、電波の干渉を防ぐために、異なるチャンネルで極力5チャンネル以上間隔をあけて設定してください。**

4 「OK」をクリックする

詳細設定の画面に戻ります。
詳細設定画面の設定変更項目・設定状況を見て設定が変更されていることを確認してください。

5 他に設定する項目がなければ、[設定]をクリックする

「SSID・チャンネルを変更しました。」と表示され、アクセスポイントが再起動されます。

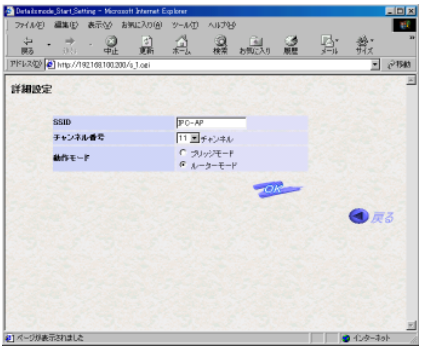
⚠注　意

- **SSIDの変更を行なうと[戻る]をクリックしても設定画面に戻れません。Webブラウザを終了させ、パソコン側のSSIDを変更し再度Webブラウザを起動してください。「無線LAN PCカード側の設定」を参照してください。**
- **設定したSSIDは、メモを残しておくなどして忘れないようにしてください。万一忘れてしまった場合は「パスワードまたは設定内容を忘れてしまってアクセスできない」を参照してください。**

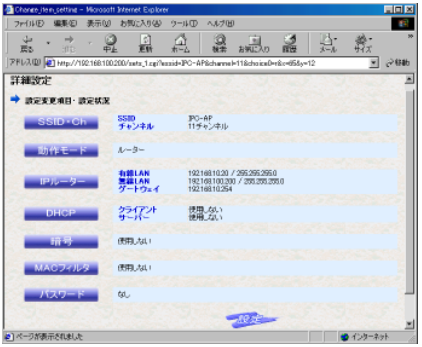
動作モードの変更

1 「アクセスポイントの変更」に従って、詳細設定の画面を表示します。

2 [動作モード]をクリックする



設定画面が表示されます。



3 「動作モード」を選択して「OK」をクリックする

初期設定は以下のようになっています。
動作モード：ブリッジモード

⚠注　意　**ダイヤルアップ接続する場合は、必ず動作モードを”ルーターモード”に設定してください。**

4 「OK」をクリックする

詳細設定の画面に戻ります。
詳細設定画面の設定変更項目・設定状況を見て設定が変更されていることを確認してください。

5 他に設定する項目がなければ、「設定」をクリックする

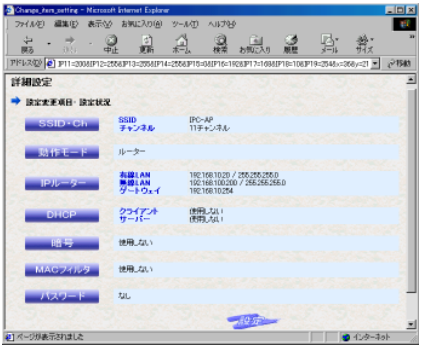
「IPブリッジを変更しました。」あるいは「IPルーターを変更しました。」と表示され、アクセスポイントが再起動されます。

IPアドレスの変更

1 「アクセスポイントの変更」に従って、詳細設定の画面を表示する

2 動作モードが「ルーターモード」なら、[IPルーター]をクリックし、「ブリッジモード」なら、[ＩＰブリッジ]をクリックする

IP設定画面が表示されます。



3 動作モードに合わせて変更内容を入力し、[OK]をクリックする

詳細画面に戻ります。

初期設定は以下のようになっています。

●ブリッジモード

IPアドレス：192.168.100.200

サブネットマスク：255.255.255.0

●ルーターモード

有線LAN

IPアドレス：192.168.10.20

サブネットマスク：255.255.255.0

無線LAN

IPアドレス：192.168.100.200

サブネットマスク：255.255.255.0

ゲートウェイ：192.168.10.254

4 他に設定する項目がなければ、「設定」をクリックする

詳細設定画面の設定変更項目・設定状況を見て設定が変更されていることを確認してください。
「IPルーターを受け付けました。」あるいは「IPブリッジを受け付けました。」と表示され、アクセスポイントが再起動されます。

設定方法が分からないときは、「IPアドレスの割り当て方法が分からない」を参照してください。

⚠注　意

- **IPアドレスの変更を行うと[戻る]をクリックしても設定画面に戻れません。また、次回からWebの設定画面が起動しなくなります。「Web画面でIPアドレスを変更したときは」を参照してください。**
- **設定したIPアドレスは、メモを残しておくなどして忘れないようにしてください。万一忘れてしまった場合は「パスワードまたは設定内容を忘れてしまってアクセスできない」を参照してください。**

DHCPの設定

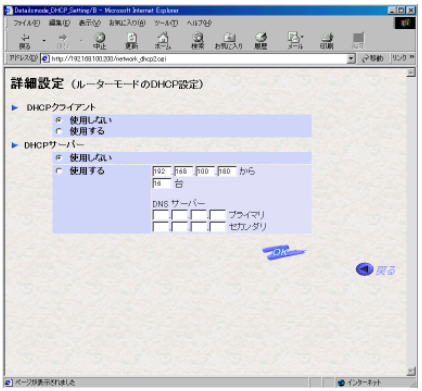
DHCPを使用するとIPアドレスを設定する際に、ネットワーク上のパソコンやアクセスポイントにIPアドレスを自動的に割り当てることができます。

⚠注　意

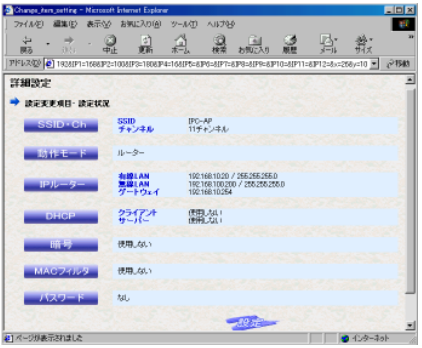
DHCPは、ルーターモード時のみで使用可能です。

1 「アクセスポイントの変更」に従って、詳細設定の画面を表示する

2 「DHCP」をクリックする



DHCPの設定画面が表示されます。



3 あらかじめ有線LAN側にIPアドレスが固定されている場合は、DHCPクライアントを「使用しない」に設定し、IPアドレスの自動割り当てを使用してIPアドレスを受けたい場合は「使用する」に設定する

4
- 無線LAN側パソコンの設定で、固定IPアドレスを設定する場合は、DHCPサーバーを「使用しない」に設定する
- IPアドレスを自動的に振り分けて設定する場合は「使用する」に設定する
- 「使用する」に設定した場合は最初のIPアドレスとその最初のIPアドレスから割り当てたい台数の設定する

初期設定は以下のようになっています。
DHCPサーバー：192.168.100.180～16台
DNSサーバーは、プロバイダより指定されたアドレスを設定してください。
DNSサーバーのアドレスはパソコン側にも設定してください。

⚠注　意　**CATV/ADSLモデムを使用する場合は、プロバイダから送られてくる設定情報をもとにIPアドレスの設定方法を確認して設定してください。**

5 「OK」をクリックする

詳細設定の画面に戻ります。
詳細設定画面の設定変更項目・設定状況を見て設定が変更されていることを確認してください。

6 他に設定する項目がなければ、[設定]をクリックする

「DHCPクライアント(サーバー)を変更しました。」と表示され、アクセスポイントが再起動されます。

⚠注　意　**DHCPサーバーの設定を変更した場合は、パソコンを再起動してください。**

暗号の設定

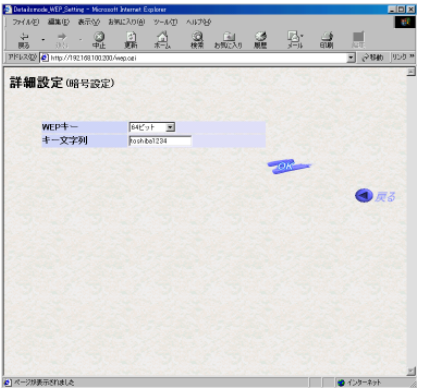
64ビットまたは128ビットのWEP機能を使用し、セキュリティを強化します。

⚠注 意 **暗号の設定を行うと通信速度が低下します。**

64ビットを使用する場合

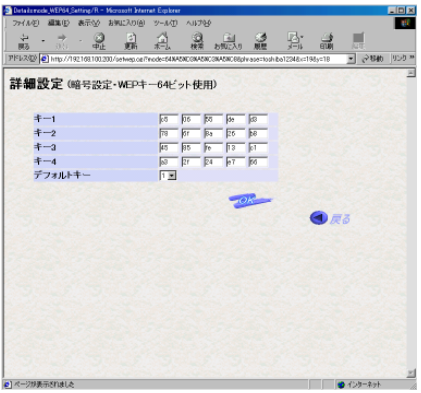
1 「アクセスポイントの変更」に従って、詳細設定の画面を表示する

2 「暗号」をクリックする



設定画面が表示されます。

3 WEPキーの欄から、設定項目を選択する



4 キーを自動的に作成したいときは、「キー文字列」に任意の文字列(半角英数文字列で最大32文字まで)を入力し「OK」をクリックする

前画面でキー文字列が入力されていると、キー1からキー4までのキーが自動入力されます。

5 デフォルトキーを選択する

選択されたキーを使用して暗号化します。初期設定は以下のようになっています。

デフォルトキー：1

キー文字列を入力しなかった場合は、直接キーに半角英数字(0～9, a～f)を組み合わせて入力します。

6 「OK」をクリックする

詳細設定の画面に戻ります。

詳細設定画面の設定変更項目・設定状況を見て設定が変更されていることを確認してください。

7 他に設定する項目がなければ、[設定]をクリックする

「暗号を変更しました。」と表示され、アクセスポイントが再起動されます。

8 同じ暗号キーをパソコン側にも設定する

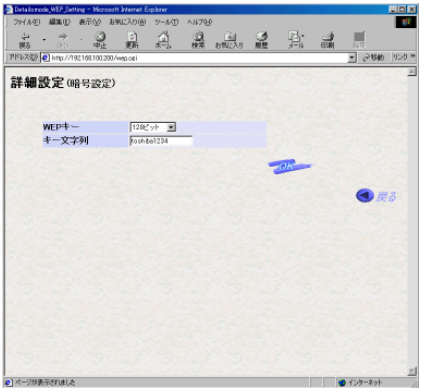
⚠注 意

- **暗号の変更を行うと「戻る」をクリックしても設定画面に戻れません。Webブラウザを終了させ、パソコン側の暗号を変更し再度Webブラウザを起動してください。「無線LAN PCカード側の設定」を参照してください。**
- **暗号を忘れてしまった場合は「パスワードまたは設定内容を忘れてしまってアクセスできない」を参照してください。**

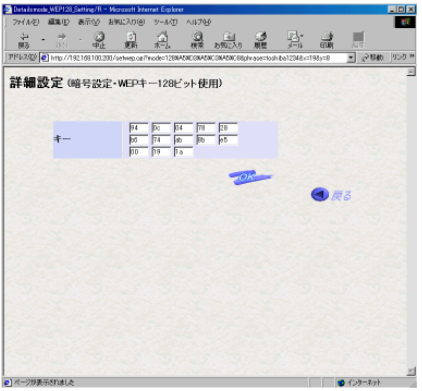
128ビットを使用する場合

1 「アクセスポイントの変更」に従って、詳細設定の画面を表示する

2 「暗号」をクリックする



設定画面が表示されます。



3 WEPキーの欄から、設定項目を選択する

4 キーを自動的に作成したいときは、「キー文字列」に任意の文字列(半角英数文字列で最大32文字まで)を入力し「OK」をクリックする

前画面でキー文字列が入力されていると、キーが自動入力されます。

キー文字列を入力しなかった場合は、直接キーに半角英数字(0～9, a～f)を入力します。

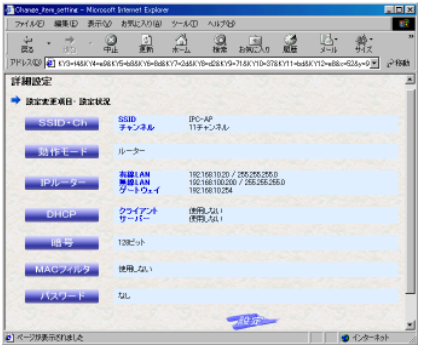
5 「OK」をクリックする

詳細設定の画面に戻ります。

詳細設定画面の設定変更項目・設定状況を見て設定が変更されていることを確認してください。

6 他に設定する項目がなければ、[設定]をクリックする

「暗号を変更しました。」と表示され、アクセスポイントが再起動されます。



7 同じ暗号キーをパソコン側にも設定する

⚠注　意

- 暗号の変更を行うと「戻る」をクリックしても設定画面に戻れません。Webブラウザを終了させ、パソコン側の暗号を変更し再度Webブラウザを起動してください。「無線LAN　PCカード側の設定」を参照してください。
- 暗号を忘れてしまった場合は「パスワードまたは設定内容を忘れてしまってアクセスできない」を参照してください。

MACアドレスフィルタリングの設定

MACアドレスのフィルタリングは、アクセスを許可したいMACアドレスを登録することにより登録されたパソコンだけがネットワークにアクセスすることができるセキュリティ機能です。

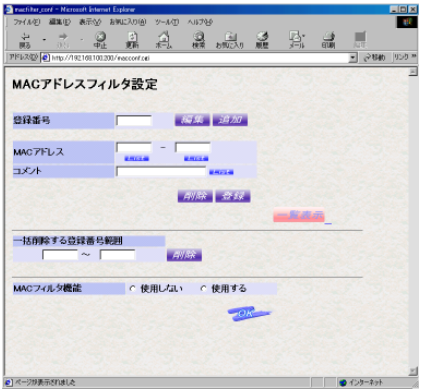
MACアドレスの登録

MACアドレスは無線LAN　PCカードの裏面のラベルに記載されてます。カードがパソコンに取り付けられていて確認ができない場合は、「スタート」-「ファイル名を指定して実行」-「winipcfg.exe」を実行して確認することができます（Windows NT/2000はコマンドプロンプトを立ち上げて「ipconfig /all」を実行し「PhysicalAddress」を確認してください）。

1 「アクセスポイントの変更」に従って、詳細設定の画面を表示する

2 「MACフィルタ」をクリックする

[MACアドレスフィルタ設定]画面が表示されます。



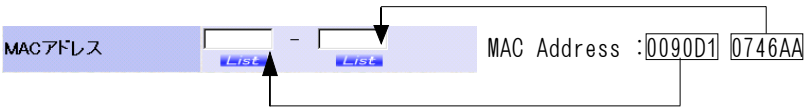
3 「追加」をクリックする

新しい登録番号が表示されます。

4 「MACアドレス」と「コメント」を入力し、「登録」をクリックします。

コメント欄には登録しようとしているパソコンの情報など（コンピューター名など）を自由に入力することができます。必要ない場合は、空欄のままでも構いません。半角英数文字で最大20文字まで入力可能です。

無線LAN　PCカードに記載されているMACアドレスの12桁のうち、上位6桁を「ー」の左側にある欄に記入し、下位6桁を右側にある欄に記入します。



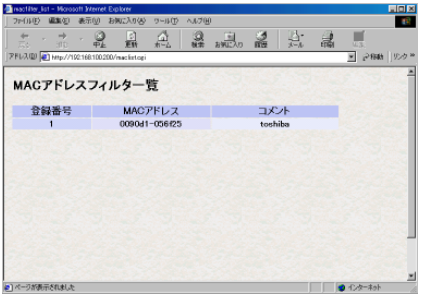
各項目にある[List]ボタンをクリックすると、前回登録したMACアドレス・コメントを表示させることができます。

⚠注　意　**MACアドレスを登録する際は、必ず現在使用してる無線LAN　PCカードのMACアドレスを登録してください。**

5 MACフィルタ機能欄で「使用する」にチェックし「OK」をクリックする

6 「一覧表示」をクリックする

「MACアドレスフィルター覧」が表示され、登録されたデータの一覧を見ることができます。
MACアドレスは、最大1200件まで登録可能です。



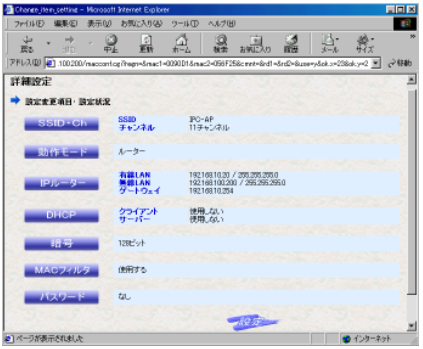
⚠注　意　**一覧はコメントで昇順に表示されます。「追加」・「編集」・「削除」をされるたびに登録番号は変化します。操作するごとに[再表示]をクリックし、最新の状態を確認してください。**

7 「MACアドレスフィルター一覧」画面を終了する

詳細設定の画面に戻ります。

8 他に設定する項目がなければ、「設定」をクリックする

詳細設定画面の設定変更項目・設定状況を見て設定が変更されていることを確認してください。



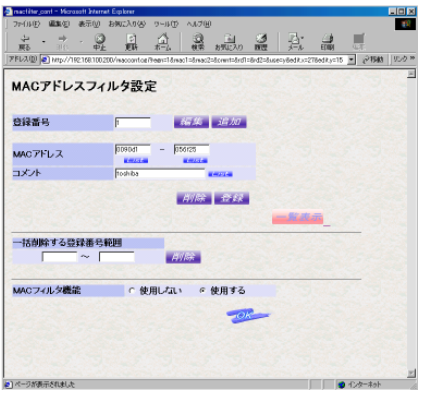
「MACフィルタを変更しました」と表示され、アクセスポイントが再起動されます。

MACアドレスの削除

一件ずつ削除する

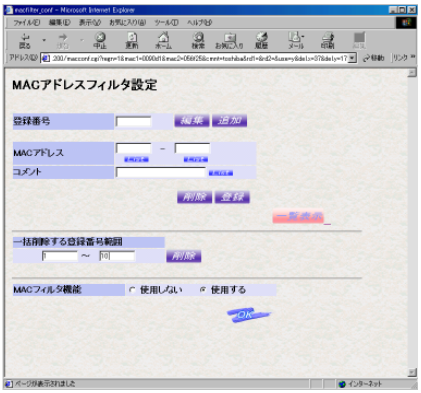
1 削除したいMACアドレスの登録番号を「登録番号」の欄に入力し[編集]をクリックする

2 MACアドレスとコメントの内容を確認し、「削除」をクリックする



一括削除する

1 「一括削除する登録番号」の欄に削除したい登録番号範囲を入力し、「削除」をクリックする



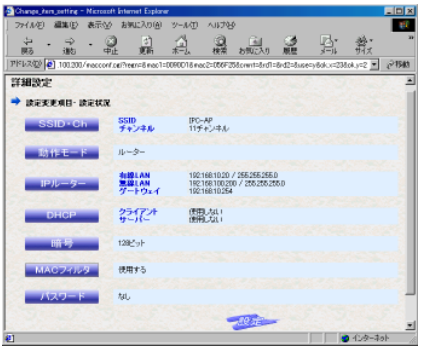
⚠注 意 MACアドレスを「削除」するたびに登録番号は変化します。「削除」するごとに「MACアドレスの一覧表示」画面で、[再表示]をクリックし、最新の状態を確認してください。

2 [OK]をクリックする

詳細設定の画面に戻ります。

3 他に設定する項目がなければ、[設定]をクリックする

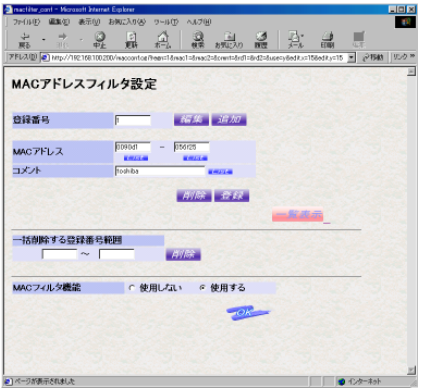
詳細設定画面の、設定変更項目・設定状況を見て設定が変更されていることを確認してください。



「MACフィルタを変更しました。」と表示され、アクセスポイントが再起動されます。

MACアドレスの編集

1 編集したいMACアドレスの登録番号を、「登録番号」の欄に入力し[編集]をクリックする



2 登録されているデータが呼び出されたら、変更したい箇所を編集し「登録」をクリックする

3 「MACアドレスフィルター覧」を見て内容が変更されていることを確認する

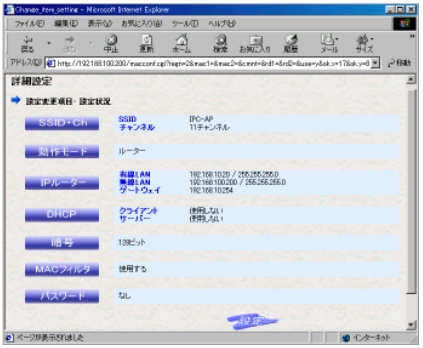
MACアドレスを「編集」するたびに登録番号は変化します。「編集」するごとに「MACアドレスの一覧表示」画面で、[再表示]をクリックし、最新の状態を確認してください。

4 [OK]をクリックする

詳細設定の画面に戻ります。

5 他に設定する項目がなければ、[設定]をクリックする

「MACフィルタの変更を受け付けました」と表示され、アクセスポイントが再起動されます。



⚠注 意 **各設定画面で設定を完了し、[OK]ボタンをクリックした段階ではまだ設定は有効となっていません。[OK]ボタンをクリックし詳細設定の画面に戻って[設定]ボタンをクリックすることによって設定は有効となります。**

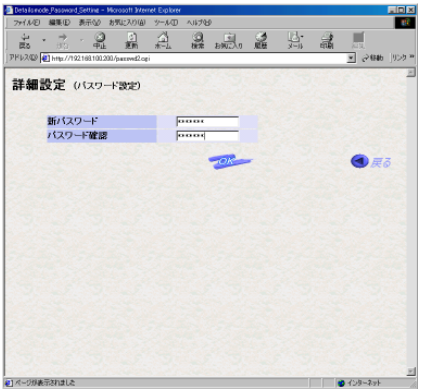
パスワードの設定

パスワードの設定を行うことにより、セキュリティを強化することができます。

1 「アクセスポイントの変更」に従って、詳細設定の画面を表示する

2 「パスワード」をクリックする

[パスワード設定]画面が表示されます。



3 「新パスワード」に設定したいパスワードを入力して、「パスワード確認」に同じパスワードを入力し「OK」をクリックする

パスワードの初期設定はされていません。

⚠注 意 **設定したパスワードは忘れないようにしてください。万一、忘れてしまった場合は「パスワードまたは設定内容を忘れてしまってアクセスできない」を参照してください。**

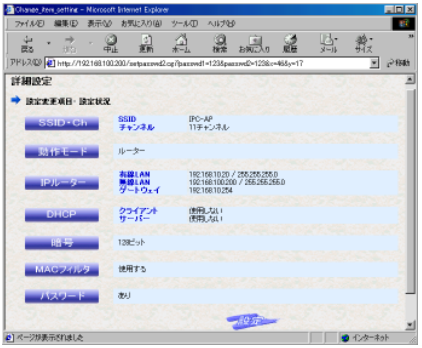
4 [OK]をクリックする

詳細設定の画面に戻ります。

5 他に設定する項目がなければ、[設定]をクリックする

詳細設定画面の設定状況を見て設定が変更されていることを確認してください。

「パスワードを変更しました。」と表示されます。



6 「戻る」をクリックする

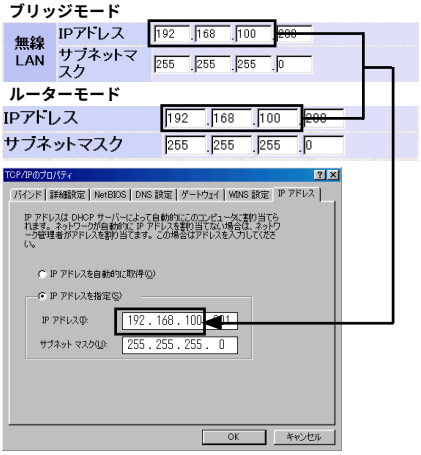
「ネットワークパスワード入力」画面が表示されます。「ユーザー名」と新しく設定した「パスワード」を正しく入力し[OK]をクリックします。
入力したパスワードは「＊」で表示されます。

次回からWebブラウザを立ち上げ、「ネットワークパスワードの入力」画面が表示されたときは、設定したパスワードの入力を行ってください。

Web画面でIPアドレスを変更したときは

以下の説明は、Windows98を例としています。

1 設定画面で動作モードに合わせて設定したIPアドレスの最初の3つの欄までと「TCP/IPのプロパティ」の「IPアドレス」の最初の3つの欄までは必ず同じ値に設定する



右図のIPアドレスとサブネットマスクの場合の設定例を以下のように示します。

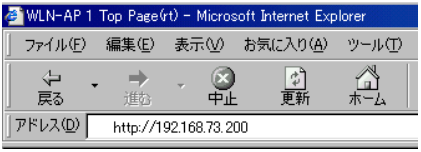
<設定例>

アクセスポイント
192.168.73.200 (255.255.255.0)

パソコン1	192.168.73.201 (255.255.255.0)
パソコン2	192.168.73.202 (255.255.255.0)
・	・
・	・

2 再起動する

3 Webブラウザを起動して、アドレスに変更したIPアドレスを”http://”に続けて入力する



Webブラウザに、設定画面が表示されます。

ローミング機能の設定

本製品は、常にローミング機能が使用できるように設定されています。
この機能によって、複数のアクセスポイントが設置してある場合、無線LAN PCカードを差し込んだ状態で部屋を移動する際に一番近くにあるアクセスポイントに自動的に切り替えることができます。

⚠注 意 **ローミングを使用する場合は、すべてのアクセスポイントのSSIDと暗号を同じ設定にしてください。また、チャンネル設定は、異なるチャンネルで極力5チャンネル以上間隔をあけて設定してください。**
設定例：チャンネル1・6・11・14

8 アクセスポイントの設定-ダイヤルアップ接続の設定

⚠注 意

- **Webブラウザは、「Internet Explorer4.0」以降、「Netscape Navigator3.0」以降を使用してください。**
- **Webブラウザ上の[進む]・[戻る]ボタンをクリックしても設定は反映されません。**
- **設定画面を「お気に入り」などに登録し、途中から設定することはできません。設定する際は必ず起動画面から入り設定をしてください。**

ダイヤルアップ接続の設定

アナログ回線やISDN回線に接続してインターネットに接続するには、プロバイダと契約する必要があります。プロバイダから送られてくる設定情報をもとに以下の手順で設定してください。

ダイヤルアップ接続設定

1 Webブラウザを起動し、アドレスに、「http://192.168.100.200」と入力し、「Enter」キーを押す

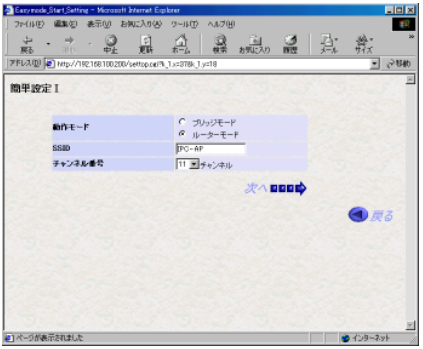
Webブラウザに、設定画面が表示されます。

2 「簡単設定」をクリックする

[ネットワークパスワードの入力]画面が表示された場合、「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「OK」をクリックしてください。

初期設定は、「ユーザー名」は“root”とし、パスワードは設定されていません。

[簡単設定Ⅰ]画面が表示されます。



3 「動作モード」を”ルーターモード”に設定する

4 「SSID」・「チャンネル番号」の設定を行い「次へ」をクリックする

「SSID」は大文字・小文字の区別があり、半角英数字で32文字まで入力できます。
初期設定は以下のようになっています。
SSID：IPC-AP
チャンネル：11チャンネル
セキュリティ保護のため、新しいSSIDを設定することをお勧めします。

⚠注　意

- **SSIDの変更を行なうと次回からWebの設定画面に戻れません。設定が完了したら、Webブラウザを終了させ、パソコン側のSSIDを変更し、再度Webブラウザを起動してください。「無線LAN PCカード側の設定」を参照してください。**
- **複数のアクセスポイントが設置してある場合、電波の干渉を防ぐために、異なるチャンネルで極力5チャンネル以上間隔をあけて設定してください。**
  設定例：チャンネル1・6・11・14

「簡単設定Ⅱ」が表示されます。

5 有線LAN・無線LANの「IPアドレス」・「サブネットマスク」と「ゲートウェイ」の設定を行い「次へ」をクリックする

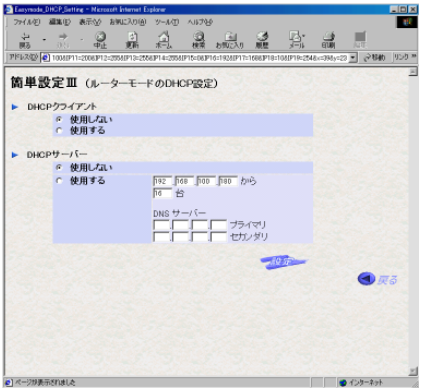
有線LANに他のパソコンを接続していない場合は、有線LAN側の設定は初期設定のままで設定してください。
ゲートウェイの設定も初期設定で設定してください。

初期設定は以下のようになっています。
有線LAN
IPアドレス：192.168.10.20
サブネットマスク：255.255.255.0
無線LAN
IPアドレス：192.168.100.200
サブネットマスク：255.255.255.0
ゲートウェイ：192.168.10.254

設定方法が分からないときは、「IPアドレスの割り当て方法が分からない」を参照してください。

⚠注　意　**IPアドレスの変更を行なうと次回からWebの設定画面が起動しなくなります。設定が完了したら、Webブラウザを終了させ、「Web画面でIPアドレスを変更したときは」を参照してください。**

「簡単設定Ⅲ」が表示されます。



6 DHCPクライアントは「使用しない」に設定する

パソコンに固定のIPアドレスを使用する場合は、DHCPサーバーは「使用しない」に設定します。自動的にIPアドレスを割り当てたい場合には「使用する」に設定します。(P.37参照)ここでは、DHCPサーバーは「使用しない」として説明を行っていきます。

DNSサーバーは、プロバイダーより指定されたアドレスを設定してください。DNSサーバーのアドレスはパソコン側にも設定してください。

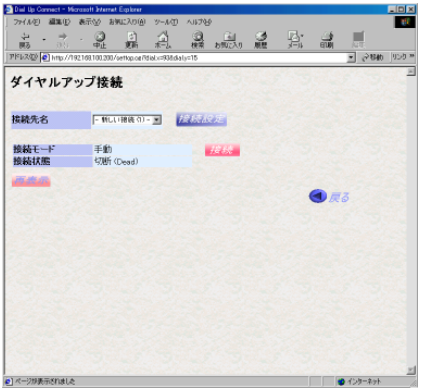
7 「設定」をクリックする

「ルーター・DHCP設定の変更を受け付けました」と表示され、アクセスポイントが再起動されます。

8 アクセスポイントが再起動されたら、[戻る]をクリックして起動画面を表示し、「ダイヤルアップ」をクリックする

BUSYランプが消えていれば、アクセスポイントは再起動されています。

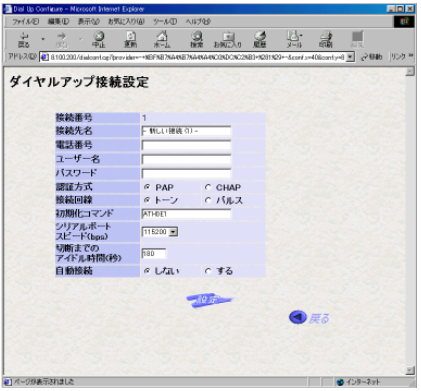
「ダイヤルアップ接続」画面が表示されます。



9 「接続設定」をクリックする

ダイヤルアップ接続設定は、最大6件まで登録可能です。

「ダイヤルアップ接続設定」画面が表示されます。



⚠注　意　**「ダイヤルアップ接続設定」画面で表示される「接続番号」は、インターネットに接続する際に必要となるため、メモを残しておくなどして忘れないようにしてください。**

10 各設定項目欄に設定内容を入力し「設定」をクリックする

⚠注　意　**設定情報の名称や項目はプロバイダによって異なることがあります。ご契約のプロバイダの設定情報と合わせて設定を進めてください。**

初期化コマンド・切断までのアイドル時間(秒)は以下のように初期設定がされています。
初期化コマンド：ATH0E1
「H0」・・・モデムを回線から切り離します。
「E1」・・・コマンドエコーありに設定します。
切断までのアイドル時間(秒)：180

「接続先名」
接続先のプロバイダーの名前を入力します。

「電話番号」
プロバイダーに接続する電話番号を入力します。
内線から発信する場合(0発信)には、電話番号の前に「0」と「,」を入力して、ダイヤルするまでの間隔をあけてください。
「,」・・・ダイヤル中に間隔をあけたい時に設定します。
詳しくは、ご使用のモデムまたはTA(ターミナルアダプター)のマニュアルを参照してください。

「ユーザー名」
ダイヤルアップ接続時に認証を行なう場合のIDを設定します。

「パスワード」
ダイヤルアップ接続時に認証を行なう場合のパスワードを設定します。

「認証方式」
ダイヤルアップ接続時の認証方式を選択します。
接続先により認証方式が異なる場合があります。プロバイダーから送られてくるマニュアルを参照して選択してください。

「接続回線」
使用するダイヤル方法を選択します。

「初期化コマンド」
TA(ターミナルアダプター)またはモデムに送信するコマンドを入力します。
初期化コマンドは、TA(ターミナルアダプター)またはモデムのマニュアルを参照してください。

「シリアルポートスピード」
TA(ターミナルアダプター)またはモデムとのデータ転送速度を選択します。シリアルポートスピードは、TA(ターミナルアダプター)またはモデムのマニュアルを参照してください。

「自動接続」
ダイヤルアップ接続を自動/手動どちらで行うかを選択します。
する：ダイヤルアップ接続する際に、自動で発信を行なうことができます。
しない：ダイヤルアップ接続する際に、「ダイヤルアップ接続」画面の「接続」をクリックし、ダイヤルアップ接続させます。

「切断までのアイドル時間(秒)」
接続の切断し忘れを防止するために、一定の時間アクセスしない状態が続くと、自動的に接続を切断することができます。ここでは、そのためのタイマーの時間を設定します。

⚠注　意　**予期せぬ通信料金の発生を防ぐため「切断までのアイドル時間(秒)」は必ず設定してください。**

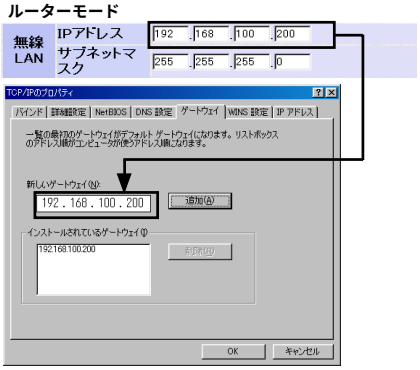
正しく設定されていると、「ダイヤルアップ接続設定を変更しました。」と表示されます。

パソコン側の設定

ダイヤルアップ接続をする前にパソコン側の設定を変更する必要があります。以下の説明は、Windows98を例としています。

1 「TCP/IPのプロパティ」を表示する

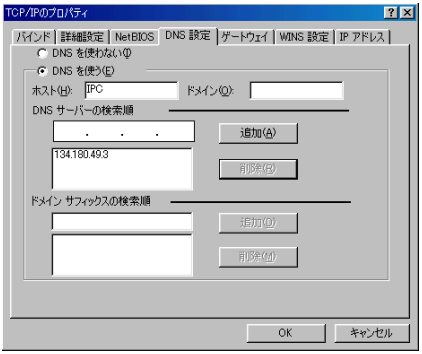
2 「ゲートウェイ」タブをクリックし、新しいゲートウェイに、ダイヤルアップ接続設定でアクセスポイントに設定した無線LAN側のIPアドレスを入力する



3 **「追加」をクリックし、アクセスポイントの無線LAN側のIPアドレスが「インストールされているゲートウェイ」に表示されていることを確認する**

4 **「DNS設定」タブをクリックする**

5 **「DNSを使う」にチェックがされていない場合は、チェックをして「DNSサーバの検索順」にプロバイダー指定のDNSサーバーのアドレスを入力し、「追加」をクリックする**



ホスト名は、任意の文字列を入力してください。（例：IPC）

6 **[OK]をクリックする**

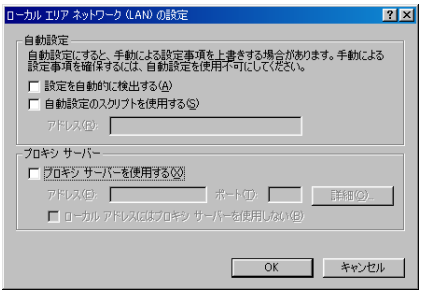
7 **[ネットワーク]画面に戻り、「OK」をクリックする**

8 **「OK」をクリックする**

再起動します。

9

- **Internet Explorer5.0以降をご使用の場合**
  「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」を表示させ、「プロキシサーバーを使用する」にチェックされている場合はチェックを取る



- **Internet Explorer4.0をご使用の場合**
  「オプション」を表示させて「プロキシサーバー経由で接続する」にチェックがされている場合はチェックを取る

・Netscape Navigator3.0以降をご使用の場合
「プロキシ」を表示させて「手動でプロキシを使用する」が選択されている場合は「インターネットに直接接続する」を選択する

インターネットへの接続

以下の説明は、「自動接続」設定で「しない」を指定した場合を例としています。

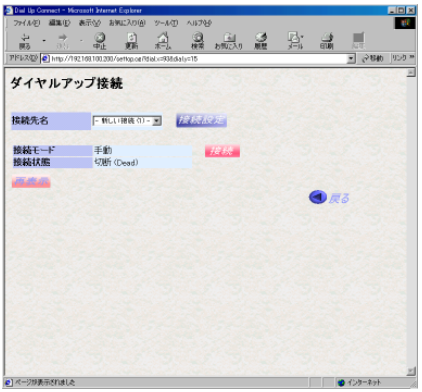
1 起動画面を表示する

2 「ダイヤルアップ」をクリックする

「ダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

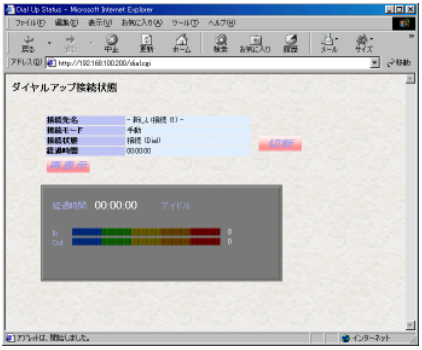
3 「接続先名」から接続したい番号を選択する

4 「接続」をクリックする



「ダイヤルアップ接続状態」画面が表示されます。

接続状態が「接続」になり、アプレットが表示され経過時間がカウントアップされ、アイドル時間がカウントダウンされます。
経過時間・アイドル秒を表示するアプレットが表示されないときは、[再表示]をクリックしてください。



Internet　Explorerをご使用の場合でアプレットが表示されない場合は、「ダイヤルアップ接続状態の画面でアプレットが表示されない」を参照してください。

5 新しくWebブラウザを起動する

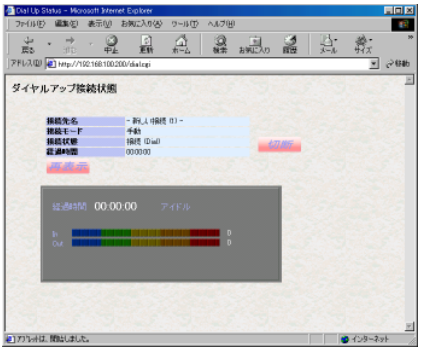
インターネット接続を切断する時は、「ダイヤルアップ接続状態」の画面から切断するため、ホームページを開くときは「ダイヤルアップ接続状態」画面は残したままにして、新しいWebブラウザーを開くようにしてください。「ダイヤルアップ接続状態」画面で、[ファイル]-[新規作成]-[ウィンドウ]で新しいWebブラウザーを開くことができます。

6 ホームページを開きたい時は開きたいホームページのアドレスを「アドレス」欄に入力し、[Enter]を押す

(例：http://www.toshiba.co.jp)

インターネット接続の切断

出荷設定時の切断までのアイドル時間は180秒となっているため、接続回線上のデータが流れないアイドル時間が180秒を超えると自動的に接続を切断します。また、ダイヤルップ接続状態で[切断]をクリックすると、接続を強制的に切断することができます。



⚠注　意

ダイヤルアップ中は、アクセスポイントの表面にあるBUSYランプが点灯しています。切断したあとは予期せぬ通信料金の発生を防ぐためにもBUSYランプが消えていることを確認してください。

「自動接続」設定で、「する」を設定すると、Webブラウザを起動し、見たいホームページのアドレスを指定するだけで自動的にダイヤルアップ接続が開始されます。Webブラウザーを終了すると、指定された切断アイドル時間が経過した後、ダイヤルアップが切断されます。

⚠注　意

・自動接続で設定した場合、一定時間毎にインターネットに接続するような設定がされている場合(メールソフトの新着メール確認・アクティブデスクトップなど)その設定時間毎に自動的にダイヤルアップ接続されます。そのため、予期せぬ通信料金の発生となることがありますのでご注意ください。
・テレホーダイ等の定額料金サービスを利用されている方以外は、「自動接続」設定を「しない」に設定することをお勧めします。

9 無線LAN PCカード側の設定

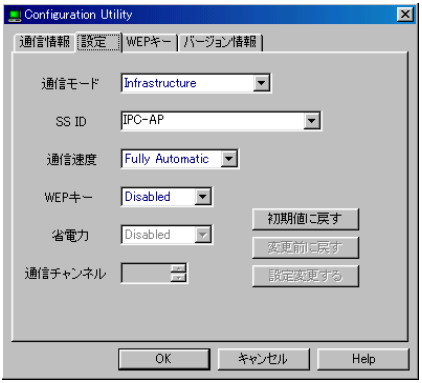
別売りの「無線LAN PCカード（IPC5038A）」を使用し、本製品でネットワークを構築される場合は、アクセスポイントの設定を行なった後、無線LAN PCカード側の設定を再度行う必要があります。

⚠注 意 **設定する前に、無線LAN PCカードのドライバと、ユーティリティが正しくインストールされていることを確認してください。**

1 「スタート」-「プログラム」-「IEEE802.11b WirelessLAN」-「ConfigurationUtility」をクリックする

タスクバーに アイコンが表示されている場合は、そのアイコンをクリックします。

「Configuration Utility」画面が表示されます。



2 「設定」をクリックする

3 各項目を設定する

●通信モード

「Infrastructure」モードに設定してください。

●SSID

無線LAN上で特定の相手と接続するための識別コードです、大文字・小文字の区別があり、半角英数字で32文字まで入力することができます。初期設定は「IPC-AP」となっています。

⚠注 意 **SSIDは、必ずアクセスポイント側と同じSSIDを設定してください。**

●通信速度

通信速度では、パソコン側の送信速度を設定します。最適なパフォーマンスで通信を行うためには「Fully Automatic」を選択してください。

●WEPキー

無線ネットワーク上の送信データに対して暗号化処理を行なうか行なわないかを選択します。

⚠注 意
- **暗号は、必ずアクセスポイント側と同じ暗号に設定してください。**
- **WEPキーを使用することによって、通信速度が低下します。**

●省電力
省電力はサポートしていません。

●通信チャンネル
無線通信で使用するチャンネルの設定を行ないます。初期設定は「11」チャンネルとなっています。

⚠注　意　**通信チャンネルは、「AdHoc」モードのみ設定が可能となります。**

4 「設定変更する」をクリックする

暗号の設定

64/128ビットのWEPキーは、ユーザーによって定義されたキー(半角英数文字列で最大32文字まで)によって生成されます。以下の手順に従ってWEPキーを生成してください。

⚠注　意
- **暗号を使用して通信を行うには、通信を行うすべてのパソコンとアクセスポイントに同じ設定をしてください。**
- **暗号を使用することによって、通信速度が低下します。**

●64ビットを使用する場合

1 「設定」タブを選択し、WEPキーで64ビットを選択し、[設定変更する]をクリックする

2 「WEPキー」タブを選択し、キー文字列の入力欄に大文字・小文字を区別した文字列に大文字・小文字を区別した半角英数で任意の文字列(最大32文字)を入力する

3 [作成]をクリックする

キー1からキー4の欄にキーが入力されます。

4 デフォルトキーを1～4の中から選択する

選択されたキーを使用して暗号化します。

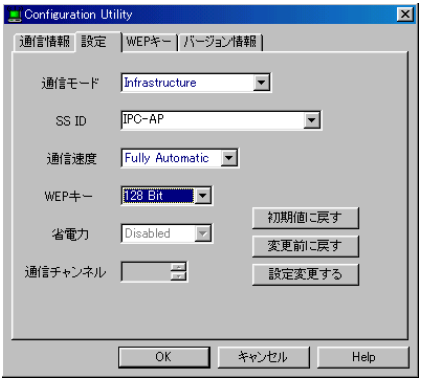
5 [書き込み]をクリックして、設定内容を保存する

6 [OK]をクリックし、設定画面を終了する

●128ビットを使用する場合

1 「設定」タブを選択し、WEPキーで128ビットを選択し、[設定変更する]をクリックする

2 「WEPキー」タブを選択し、キー文字列の入力欄に大文字・小文字を区別した文字列に大文字・小文字を区別した半角英数で任意の文字列(最大32文字)を入力する



3 [作成]をクリックする

キー1の欄にキーが入力されます。

4 [書き込み]をクリックして、設定内容を保存する

5 [OK]をクリックし、設定画面を終了する

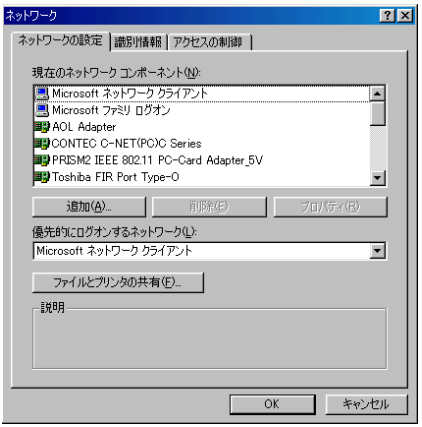
ネットワークの設定の確認

以下の説明はWindows98を例としています。

1 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択する

2 「ネットワーク」をダブルクリックする

[ネットワーク]画面が表示されます。



3 「現在のネットワークコンポーネント」の欄に、「Microsoft ネットワーク クライアント」が表示されていることを確認する

「Microsoftネットワーククライアント」が表示されていない場合は、[追加]をクリックし、「クライアント」の中から「Microsoft」-「Microsoftネットワーククライアント」を選択し追加してください。

10 ネットワークアダプタの元への戻し方について

無線LANの基本的な設定を終了し、既存のLANおよびWAN、ダイヤルアップネットワークに対して、「ネットワークの設定」を変更していただく必要があります。

・LANおよびWANの場合

ネットワーク管理者の指示に従って作業を行ってください。

・ダイヤルアップネットワークの場合

ご契約されているプロバイダより指示された設定に変更してください。

4章

故障かな？と思ったら

「無線LAN　PCカードが認識されない……」などの困ったときの対処方法や本装置の仕様について説明しています。

1 トラブルシューティング

本装置が正常に動作しなかったり、何らかの問題が発生したと思われる時は、ここをお読みになり役立ててください。それでもなお解決できない場合は、「6章修理サービスのご案内　1ユーザサポート窓口のご案内」をご覧のうえ、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」にご相談ください。
トラブルの原因には、本装置に関するハードウェア的な問題だけではないことがあります。問題が発生したときは、同時にご使用になるパソコン本体、他の周辺機器の取扱説明書もご参照ください。
また、オペレーティングシステム、デバイスドライバ、フォーマットソフトなどのソフトウェアが原因の場合もありますので、それらの取扱説明書もご参照ください。

Q１：設定画面が表示されない。

■Webブラウザの設定でプロキシの設定がされていませんか？
・プロキシ設定を確認してください。
■モデムを使用してダイヤルするように設定されていませんか？
・ダイヤルしない設定に変更してください。
■TCP/IPプロトコルはインストールされていますか？
　また、設定は正しいですか？
・TCP/IPの設定を確認してください。
■IPアドレスの設定は正しいですか？
・IPアドレスの設定を確認してください。
■Webブラウザに設定したアドレスは正しいですか？
・本装置に設定したIPアドレスを確認し、アドレスを再入力してください。

Q２：無線LAN PCカードを付けたパソコン同士または、有線LANのパソコンと通信できない。

■無線LAN PCカードのドライバは正しくインストールされていますか？
・ドライバが正しくインストールされているか確認してください。
■TCP/IPプロトコルはインストールされていますか？
　また、設定は正しいですか？
・TCP/IPの設定を確認してください。
■電波状態はどうですか?
・電波状態を確認し本機とパソコンとの距離を短くしたり見通しをよくしてから再接続してください。
■起動時にネットワークパスワードを正しく入力しましたか？(パスワードを設定している場合)
・再起動して「ネットワークパスワードの入力」画面で正しく入力し[OK]をクリックしてください。

■有線LAN上のパソコンにLANアダプタが正しくインストールされていますか？また、設定は正しいですか？

・LANボードのマニュアルを参照し、ドライバのインストール、ネットワークの設定を行ってください。

Q３：無線LAN　PCカードを付けたパソコン同士または、有線LANのパソコンと通信できない。

■IPアドレスの設定は正しいですか?

・IPアドレスの設定を確認してください。

Q４：無線LAN PCカードが認識されない。

■カードが確実に差し込まれていますか？

・もう一度差し込み直してください。

■PCカードスロットが壊れていませんか？

・PCカードスロットが２つある場合は、もう一方に差し込んでください。

・他のカードをお持ちの場合は、そのPCカードが認識されるか確認してください。

Q５：ローミングがうまくいかない。

■無線LAN PCカードのSSIDの設定と接続しようとしているアクセスポイントのSSIDの設定が異なっていませんか？

・それぞれのSSIDを確認し、同じ設定を行ってください。

Q６：通信が遅い。

■複数台のアクセスポイントに、同じチャンネルを設定していませんか？

・極力5チャンネル以上間隔をあけてチャンネル番号を設定してください。

Q７：パスワードまたは設定内容を忘れてしまってアクセスできない。

■次のことを確認してください。

・万一、パスワードまたは設定内容を忘れてしまった場合は、初期化ボタンを4秒以上押してください。初期化ボタンを押すと、全ての設定は初期化されます。再度設定してください。

Q８：IPアドレスの割り当て方法が分からない。

■CATVやADSLを使用する場合は、プロバイダーから送られてくる設定情報を元に設定を行ってください。

以下の設定方法を参考にしてください。

・ブリッジモード

既存のネットワーク環境にアクセスポイントを追加する場合は、ネットワーク管理者に設定方法を確認してください。

初期設定は以下のようになっています。

IPアドレス：192.168.100.200
サブネットマスク：255.255.255.0

既存のネットワーク環境がない場合は、下記に示すプライベートアドレス空間の範囲で任意のIPアドレスを設定してください。

＜プライベートアドレス空間の範囲＞

クラス	IPアドレス範囲	ネットマスク
A	10.0.0.1～10.255.255.254	255.0.0.0
B	172.16.0.1～172.31.255.254	255.255.0.0
C	192.168.0.1～192.168.255.254	255.255.255.0

・ルーターモード

●DHCPクライアントを使用する場合

DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得するので設定の必要はありません。

⚠注　意　DHCPサーバーはIPアドレスを自動的に割り当てるサーバですが必ずしも存在するとは限りません。ネットワーク上にWindowsMe/98/95のパソコンしか存在しない場合は、手動でIPアドレスを設定しなければなりません。

●DHCPクライアントを使用しない場合

既存のネットワーク環境にアクセスポイントを追加する場合は、ネットワーク管理者にIPアドレスを確認して設定してください。

初期設定は以下のようになっています。

IPアドレス：192.168.10.20
サブネットマスク：255.255.255.0

既存のネットワーク環境がない場合は、下記に示すプライベートアドレス空間の範囲で任意のIPアドレスを設定してください。

＜プライベートアドレス空間の範囲＞

クラス	IPアドレス範囲	ネットマスク
A	10.0.0.1～10.255.255.254	255.0.0.0
B	172.16.0.1～172.31.255.254	255.255.0.0
C	192.168.0.1～192.168.255.254	255.255.255.0

・ルーターモード（無線LAN側）

●DHCPクライアントを使用する場合

無線LAN側の初期設定は以下のようになっています。

IPアドレス：192.168.100.200
サブネットマスク：255.255.255.0

このネットワークアドレス範囲でDHCPクライアントに割り当てるIPアドレスを指定します。

詳細設定のDHCP設定画面で、DHCPサーバーを「使用する」に設定します。

初期設定は以下のようになっています。

192.168.100.180 から 16台

IPアドレスの設定を変更した場合は、先頭IPアドレスを変更したIPアドレス・サブネットマスクに合わせて設定してください。

無線LAN パソコン側の設定としては、IPアドレスの設定画面で以下のように設定してください。

WindowsMe/98/95 → 「IPアドレスを自動的に取得」

Windows2000/NT4.0 → 「DHCPサーバーからIPアドレスを取得する」

●DHCPクライアントを使用しない場合

無線LANパソコン側は、以下のように設定してください。

＜設定例＞

	IPアドレス	サブネットマスク
有線LAN IPアドレス	192.16810.20	255.255.255.0
無線LAN IPアドレス	192.168.100.200	255.255.255.0
無線LAN IPパソコン1	192.168.100.201	255.255.255.0
無線LAN IPパソコン2	192.168.100.202	255.255.255.0
・	・	・
・	・	・

初期設定は以下のようになっています。

IPアドレス：192.168.100.200
サブネットマスク：255.255.255.0

Q９：ダイヤルアップ接続状態の画面でアプレットが表示されない。

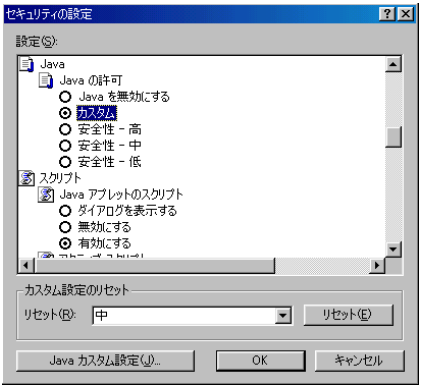
■アプレットが表示されないときは、以下の設定を行なってください。

⚠注　意　・Netscape Navigatorをご使用の場合は、以下の設定は必要ありません。

1「ダイヤルアップ接続状態」画面を開いた状態で、[ツール]-[インターネットオプション]を開く

2 [セキュリティ]タブの[レベルのカスタマイズ]をクリックする

「セキュリティの設定」画面を表示します。

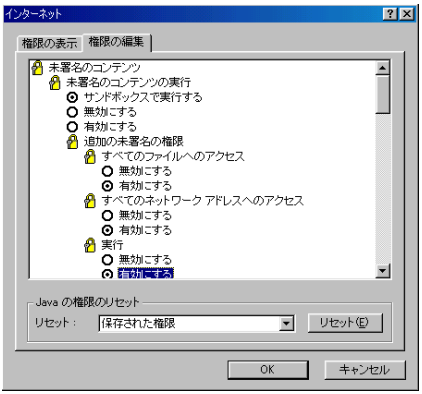


3「Java」の項目欄の「Javaの許可」を「カスタム」に設定する

4 [Javaカスタム設定]をクリックする

5「権限の編集」タブをクリックする

6 [追加の未署名の権限」の「すべてのネットワークアドレスへのアクセス」を「有効にする」に設定し、[OK]をクリックする

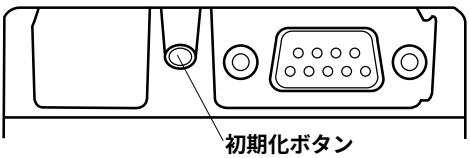


7 「ダイヤルアップ接続状態」画面に戻り[Ctrl]を押しながらWebブラウザーの[更新]をクリックする

アプレットが表示されます。

Q８：設定を初期化するには　～初期化ボタン～

■パスワードや設定内容を忘れてしまった場合は、本体の側面にある初期化ボタンを、つまようじなど先がとがった物で4秒以上押してください。



⚠注　意　**初期化ボタンを押すと設定はすべて初期化されます。**

5章

付録

本製品の仕様、本書で使われている専門用語の解説について説明しています。

1 初期設定一覧

本製品の初期設定は以下のようになっています。

項目	初期設定
SSID	IPC-AP
チャンネル	11
動作モード	ブリッジ
DHCPクライアント※	使用しない
DHCPサーバー※	使用しない
DHCPサーバー(先頭IPアドレス・台数)※	192.168.100.180 ～ 16台
DNSサーバー※	設定なし
暗号	使用しない
MACフィルタ	使用しない
パスワード	設定なし

※ルーターモードで設定した場合の設定内容です。

IPアドレス

項目		初期設定
ブリッジモード		
IPアドレス		192.168.100.200
サブネットマスク		255.255.255.0
ルーターモード		
有線側	IPアドレス	192.168.10.20
	サブネットマスク	255.255.255.0
無線側	IPアドレス	192.168.100.200
	サブネットマスク	255.255.255.0

ダイヤルアップ接続設定

項目	初期設定
認証方式	PAP
接続回線	トーン
初期化コマンド	ATH0E1
シリアルポートスピード(bps)	115200
切断までのアイドル時間(秒)	180
自動接続	しない

2 製品仕様

本装置

準拠規格	IEEE802.11/IEEE802.11b RCR STD-33,ARIB STD-T66	
使用周波数帯	2.4GHz帯	
チャンネル	1～14チャンネル	
信号伝送方式	DS-SS方式(直接拡散スペクトラム拡散方式)	
通信速度	11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsを自動切替	
伝送距離	室外50m、室内30m(使用環境によって異なります)	
セキュリティ	SSID/WEP/MACアドレス認証	
アンテナ	ダイバーシティ方式	
外部接続端子	10BASE-T/100BASE-TX×1、RS232C シリアルポート×1	
推奨接続端末数	10台程度	
ユーザー インターフェイス部	状態表示LED×4	
電源	AC100V(50/60MHz)	
定格	0.8A(5V DC)	
外形寸法	135(W)×34.3(H)×179(D)mm(突起部含まず)	
重量	約300g(本体部のみ)	
環境条件	使用温度	5℃～35℃
	保存温度	-10℃～60℃
	湿度	8%～80%(結露なきこと)

※仕様は改良などのため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

3 用語解説

アプレット

Webページに埋め込まれているもので、Webページがブラウズされたときに、クライアントにダウンロードされてブラウザー内で実行されるものです。

ブリッジ

複数のネットワークを接続するときに使用する最も基本的な装置です。データとともに送られてくるアドレスを読み取って記憶してあるアドレスの一覧と照らし合わせます。

CHAP(Challenge Handshake Authentication Protocol)

ダイヤルアップ接続の際のパスワードを暗号化することによって、ネットワーク上での不正なユーザーによる進入を阻止します。

DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)

IPアドレスを設定する場合に、ネットワーク上のパソコンやアクセスポイントにIPアドレスを自動的に割り振ります。

DNSサーバー(Domain Name System)

DNSサーバーはドメイン名とIPアドレスを対応づけるものです。

Infrastructure

アクセスポイントを使用して通信を行ないます。無線LANと有線LANを混在させ、ネットワーク環境を構築します。

LAN(Local Area Network)

ローカル・エリア・ネットワークを意味します。同一の建物内などの限られた狭い地域で使用するネットワークを指します。

MACアドレス(Media Access Control Address)

ネットワークインターフェイスカードには固有のMAC番号が割り当てられています。このMAC番号をもとに、カード間でのデータの送受信が行なわれます。

PAP(Password Authentication Protocol)

ダイヤルアップ接続の際にパスワードによってユーザーの認識確認を行なうことにより、ネットワーク上での不正なユーザーによる進入を阻止します。

ローミング

複数のアクセスポイントが設置してある場合、移動の際に再接続しなくてもアクセスしたまま、自動的にアクセスポイントを切り替えることができます。

ルーター

LANを相互接続する装置の１つです。TCP/IPプロトコルを使用しているイーサーネットではルーターはIPアドレスをもとに、データの中継経路を設定します。

SSID(Service Set Identifier)

SSIDとは、無線LAN上で特定の相手と接続するための識別コードです。アクセスポイントを使用して通信を行なう場合は、アクセスポイントと同じSSIDを無線LANパソコン側に設定してください。SSIDは、大文字・小文字の区別があり、半角英数字で32文字まで入力することができます。

TCP/IP(Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

TCPはトランスミッション・コントロール・プロトコルを意味し、IPはインターネット・プロトコルを意味します。この２つの組み合わせによりルーターなどを経由して異なる端末間で通信することが可能となります。

暗号化・WEP(Wired Equivalent Privacy)

無線ネットワーク上でデータのやりとりをする際に、そのデータを暗号化して保護します。64ビットまたは128ビットのキーを用いて暗号化することによってネットワーク上でのセキュリティを強化します。

6章

修理サービスのご案内

技術的なご質問、修理のご依頼、お問い合わせについて説明しています。

1 ユーザサポート窓口のご案内

●異常や故障が発生したら、次の ①～③の内容をご確認のうえ、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」までご連絡ください。
①使用している機器の名称
②ご購入年月日、ご購入先
③現在の状態（できるだけ詳細に）

●保証期間中の修理については、保証書の記載内容により、無料修理いたします。

●保証期間経過後の修理については、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」までご連絡ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
（修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります）

●海外での修理サービスについて
本製品の仕様は日本国内向けとなっておりますので、海外では修理をお受けすることはできません。

●郵送で修理依頼される場合のお願い
・郵送される場合の郵送料金、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担となります。
・保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
・保証期間経過後の修理については、お見積もりの必要の有無、または修理費限度額および連絡先を明示のうえ、商品に添付してください。

1．修理依頼品は緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）に入れるか、または郵送用の袋（メールバッグ→文具店などでお買い求めいただけます）などに入れて、お送りください。
2．郵送は簡易書留をご利用ください。

送付先
株式会社東芝デジタルメディアネットワーク社
PC サービス・サポート事業部
IOS センター
〒101- 0021 東京都千代田区外神田1- 8- 13 東芝秋葉原ビル1F
電 話 03-3252-3063

MEMO

日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内のみです。

This product can not be used in foreign country as designed for Japan only.

お客様ご相談窓口

この製品のアフターサービスは、下記の「お問い合わせ先」にて承っております。

この製品のご使用上のお問い合わせ窓口

◆受付時間◆

9:00～12:00　13:00～17:00

土曜、日曜、祝祭日、指定休日を除く

東芝ＰＣ　ＩＯＳセンター

TEL　03-3252-3063

FAX　03-3257-3405

無線LANアクセスポイント取扱説明書

2001年6月　　Ａ１版発行

発　行　**株式会社 東芝**　デジタルメディアネットワーク社

ＰＣサービス・サポート事業部

〒105-8001　東京都港区芝浦一丁目1番1号

http://www5.toshiba.co.jp/pcss/

Ⓒ2001　TOSHIBA CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED　　無断複製および転載を禁ず